

## 2. 展覧会別立事業

### 1) ワークショップ

より幅広い内容のプログラムを提供することを目的に、展覧会に関わらない独立した内容のワークショップを、平成20年度から年1階程度の頻度で、展示替えの閉館期間中に企画・実施してきた。体験型ワークショップを中心に、演劇、音楽、落語など美術に限らず幅広い芸術分野・表現に接し、創作活動を行うことを通じて、美術館および芸術に親しんでもらう。

平成20年度

---

#### [1] 市民参加ワークショップ「アートエコバッグをつくろう！—江戸東京野菜でお絵かき—」

内 容：「江戸東京野菜を味わう 第4弾 秋のこがねい衣食住散歩」開催に伴い、小金井市経済課との共同事業として実施した。江戸東京野菜5種類をモチーフに、描いたり、スタンプにしたり、自由な発想でオリジナルバッグを制作した。講師は小金井市内で会社を営み地域と関わりが深く、子ども向けイベント開催などの実績のある西村和弘氏が務めた。最後は、完成したエコバッグに入れ野菜を持ち帰るなど、制作過程を楽しみつつ、伝統野菜を知り、親しみを持つことのできる機会となった。当日は、幼児から大人まで幅広い年齢層の参加者が色彩豊かなエコバッグを作り上げた。また、開催中の企画展「冬の彼方に～高原の画家・田村一男の世界～」の「ミュージアムツアー」を11:00と14:00の2回実施した。

日 時：平成20年11月3日（月） ① 10:15、② 11:15、③ 13:15、④ 14:15、（全4回）

会 場：中庭

講 師：西村和弘（有限会社エニシング取締役社長）

参加費：無料

協 力：NPO法人ミュゼダグリ

参加者：計65人（① 17人、② 15人、③ 17人、④ 16人）



[1] 市民参加ワークショップ「きらきら☆えんげきあそび～美術館で演劇ワークショップ～」

内 容:美術館を演劇空間として活用したワークショップ。自分の声の響きや、体の動き、情感の発露を参加者自身が再発見し、自らの表現力や芸術性に気づき、自分が「存在」することを楽しんでもらう。演劇空間は光と影で構成され、当館の豊かな自然環境により、昼間から夕暮れ・夜へと変化していく景色の美、光線の変化を感じられる演劇ワークショップとなった。身体を動かしたり、声を出したり、お互いのコミュニケーションをはかり、様々な演劇ゲームを通して演劇的表現を体験した。全4回の連続講座とし、講師の指導の下、参加者それぞれの長所と参考テキストの内容を照らし合わせ、発表に向けて作品を作った。発表会では、1階展示室の広い空間を自由に使い、参加者それぞれがワークショップの成果を思い思いに表現した。

日 時:事前説明会 平成21年5月23日(土) 14:00～15:00

①平成21年6月6日(土) 13:30～16:00

②平成21年6月13日(土) 13:30～20:30

③平成21年6月20日(土) 13:30～16:00

④平成21年6月27日(土) 13:30～20:30、全4回

会 場:1階展示室、中庭

講 師:酒井孝宏氏(劇団徒紀の奏代表)

参加費:無料

参加者:全4回延べ84人(申込者:小学生6人、中学生3人、大人9人。なお同伴の保護者は30人、発表会見学者31人。)



[2] 特別音楽ワークショップ「響水(ひびきみず)～遙かなる水の音～」

内 容:当館の周囲の自然環境、特に「はけ」の特徴である湧水と野川に着目し、水をテーマとしたワークショップを実施した。まず「美術の森」緑地を見学し、水と音のイメージを膨らませた。次に展示室で講師がオリジナルリサイクル楽器「水カンリンバ」について説明し、参加者が楽器を制作した。本体に色を塗ったり自由に装飾して、色とりどりのカンリンバが完成し、講師と共に楽器の演奏を楽しんだ。

続いて講師とアシスタントが様々な民族楽器を使い、「はけ」をテーマにした楽曲を演奏しミニコンサートを行った。また、参加者も民族楽器に触れ、音を楽しみ、「美術の森」緑地でカンリンバ演奏を行った。

日 時:平成22年2月28日(日) 10:00～15:00

会 場:1階展示室、「美術の森」緑地

講 師:安達正芳(音楽家/ギター、パーカッション)

アシスタント:中條獄(音楽/パーカッション)、大野靖(美術)

参加費:無料

参加者:21人(未就学児5人、小学生6人、大人10人)



[1] ごくらくワークショップ～美術館で落語を遊ぼう～

内 容：古典落語の設定を利用し、言葉と身体の動きを組合せた言葉遊びゲームを行った。参加者同士のコミュニケーションをはかり、日々の生活から生まれた伝統芸能である落語を身近に体験する機会とした。各自座布団を持参し、円になって座り、落語の高座の雰囲気を味わいながら、数種類の言葉遊びを楽しんだ。また展示室の空間を活かし、壁面に貼った模造紙に画材を用いてそれぞれの夢の長屋の絵を描き、手作りの背景の前で即興劇を行うなど、落語の世界を言葉と創作で立体的に表現した。

日 時：平成 22 年 6 月 20 日（日） 10:00～ 15:00

会 場：1 階展示室

対 象：小学生以上

講 師：吉田恋生（落語パフォーマー）

アシスタント：坂崎淳志（美術）

参加費：無料

参加者：23 人（未就学児 2 人、小中学生 7 人、大人 14 人）



[2] バルーンの森で迷路あそび

内 容：講師の指導のもと、風船でできたブロックを用いて、迷路や、森の草花や動物を作成するワークショップ。風船という素材の面白さを楽しみ、表現することを重視した。展示室を風船の森に見立て、迷路を飾りつけ、風船で一杯にした。実施日の前々日からあらかじめ迷路のパーツを作っておくなど事前準備を行い、当日はバルーンアート 3 種を作った後に、2 チームに分かれ、参加者が作ったクイズに挑戦しながら迷路遊びをする対抗戦を行った。終了後は希望者が風船を持ち帰った。

日 時：平成 23 年 2 月 19 日（土） 13:00～ 15:00

会 場：1 階展示室

対 象：小学生以上

講 師：波多野典子（バルーンショップ経営）

アシスタント：坂崎淳志（美術）

参加費：無料

参加者：24 人（未就学児 5 人、小中学生 10 人、大人 9 人）



### 3. 学校教育との連携

#### 1) 鑑賞教室・出張授業

鑑賞教室と出張授業は、地域の美術館に親しむこと、芸術に触れその良さを感じ、作家の表現に関心を持ってもらうことを目的とした教育普及活動であり、わけても学校教育と密接な関係性を有している。鑑賞教室では市内小学生が美術館を訪問し学芸員の解説を聞きながら、各種展覧会を鑑賞する。出張授業は主に鑑賞前の導入として行い、学芸員が学校に赴き、あらかじめ美術館や作品に対する興味を深めてもらうために様々なプログラムを実施した。

平成 18 年度、19 年度に鑑賞教室、出張授業を試験的に行い、その成果を勘案した上で、平成 20 年度より小学校図工科授業の一環として、鑑賞教室の本格的な実施を開始した。

#### 平成 18 年度

教員より美術館へ申込みのあった市内小学校 2 校について、鑑賞教室を 2 日間、合計 6 クラスを対象に試験的に鑑賞教室を実施した。図工科授業 2 時間の枠の中で、徒歩での往復移動および鑑賞時間を組み立てた。

学校名	実施日	時間	クラス数	生徒数	引率 教員数	交通 手段	観覧料	展覧会	指導者	教材
南小学校 4 年 2 組	2008 年 2 月 8 日 (木)	9:30-10:15	1	90	2	徒歩	無料	Art-Full アート湧く はけの森	横田佳世	ワークシート 3 枚 (A4、片面 1 色)
南小学校 4 年 1 組		11:10-11:55	1		2					
南小学校 4 年 3 組		14:10-14:55	1		2					
前原小学校 4 年 3 組	2008 年 1 月 16 日 (火)	9:20-10:00	1	31	4					
前原小学校 4 年 1 組		11:10-11:50	1	33	4					
前原小学校 4 年 2 組		14:05-14:45	1	34	4					
合計			6	188	18					



前年度の鑑賞教室の実績を踏まえ、小金井市教育研究会との打合せを平成 19 年 7 月 13 日（金）に実施、19 年度の鑑賞教室の予定や出張授業などについての話し合いを持った。小金井市教育研究会主催の図画工作部研究授業の 19 年度テーマが「はけの森美術館と連携した授業づくり」に決定し、研究会と美術館が連携して市内全小学校を対象に鑑賞教室を行う方針、また学芸員による出張授業が行われることが固まった。

日程等について各小学校にアンケートを行い、市内小学校 9 校のうち 5 校に対して企画展「Art-Full2 CIRCULATION 天から地から」の会期中、鑑賞教室を実施した。この他 1 校については、「京都府立堂本印象美術館展」中に実施し、合わせて 6 校に対して、鑑賞教室を実施した。鑑賞教室は約 50 分のプログラムとし、1 階展示室ではワークシートを使った作品鑑賞、2 階展示室と「美術の森」緑地では作品鑑賞・見学を行った。

なお、緑小学校では研究授業として、出張授業を行った（《事例 1》参照）。また南小学校では鑑賞教室を公開授業としたため、小金井市教育研究会図画工作研究部の教員や南小学校教員のほか、保護者などがその様子を見学した（《事例 2》参照）。

【小金井市教育研究会 図画工作研究会】

第 4 学年図画工作科「絵から始まるストーリー ～中村研一作品の鑑賞から～」

《事例 1》  
研究授業

内 容：美術館所蔵の中村研一作品の画像をプロジェクターで映写し、作品 40 点から好みの作品を数点選び、それぞれがストーリーを作る。最後に選んだ作品を投影しながら発表を行った。研究授業終了後、研究会の場が持たれ、研究授業の感想を述べたり鑑賞授業についての議論が行われた。

目 的：子ども達への教育プログラムの充実を目指すとともに、美術館と小学校との今後の連携、および協力関係の構築を図る。

日 時：平成 19 年 12 月 5 日（水）①研究授業 13:40～14:25 ②会議 14:30～17:00

場 所：小金井市立緑小学校図工室

対 象：小金井市立緑小学校 4 年 1 組 32 人

指導者：横田佳世（当館学芸員）、高橋史樹（緑小学校図画工作専科教諭）

教 材：ワークシート 1 枚（A4 判）、中村研一作品絵葉書 40 枚



地域と連携した造形教育 企画展「Art-Full2 CIRCULATION 天から地から」多田正美×柴田敏雄

《事例 2》  
公開授業

内 容：企画展「Art-Full2 CIRCULATION 天から地から」に出品している 2 人の作家の写真や映像作品を、ワークシートを用いながら鑑賞する。

目 的：美術館という本物の作品に出会える場を身近に感じてもらい、作品の良さに触れる。

日 時：平成 20 年 2 月 1 日（金）11:05～11:50

場 所：小金井市立はけの森美術館

対 象：小金井市立南小学校 4 年 2 組 38 人

指導者：横田佳世（当館学芸員）、齊藤明子（南小学校図工専科教諭）

見学者：小金井市教育研究会図画工作研究部の教員、南小学校教員、保護者

教 材：ワークシート 4 種（多田正美作品 2 枚、柴田敏雄作品 2 枚、カラー片面、A4 判）



## 鑑賞教室

学校名	実施日	時間	クラス数	生徒数	交通手段	観覧料	展覧会	指導者	教材
第一小学校 4年生	2007年11月30日(金)	不明	不明	不明	徒歩	無料	京都府立 堂本印象美術館 展	松山ひとみ	こども鑑賞 シート1種 (A4判、1色 両面、2つ折)
	2007年12月6日(木)								
	2007年12月7日(金)								
前原小学校 4年3組	2008年1月29日(火)	10:20-11:10	1	31					
前原小学校 4年1組		11:00-11:50	1	32					
前原小学校 4年2組		14:00-14:50	1	30					
◎南小学校 4年2組	2008年2月1日(金)	11:05-11:50	1	38					
南小学校 4年1組	2008年2月8日(金)	14:00-14:55	1	38					
第二小学校 4年生	2008年2月14日(木)	10:10-10:30	1	36			バス		
		10:45-11:10	1	37					
第四小学校 4年1組	2008年2月14日(木)	13:40-14:00	1	34					
第四小学校 4年2組	2008年2月15日(金)	9:55-10:15	1	33					
		10:55-11:15	1	33					
第四小学校 4年3組	2008年2月15日(金)	13:40-14:30	2	67					
本町小学校 4年生									
合計			12	409	◎=公開授業				

## 出張授業

学校名	実施日	時間	クラス数	生徒数	展覧会	指導者
緑小学校 4年1組	2008年2月15日(金)	授業 13:40-14:30 会議 14:30-17:00	1	32	—————	横田佳世
合計			1	32		

実施計画について、小金井市教育研究会とのミーティングが以下の通り行われた。

- ・第 1 回：5 月 27 日（火）
- ・第 2 回：7 月 25 日（金）

ミーティングでは、交通手段や鑑賞教室の内容・運営、出張授業について話しあわれた。その結果を受けて、平成 20 年度は、企画展「冬の彼方に～高原の画家・田村一男の世界～」で鑑賞授業を実施し、また所蔵作品展「中村研一、一枚のラ・ヴィ（生命）」では前原小学校と南小学校の 2 校に対して、鑑賞のための導入授業として学芸員が出張授業を行った。

**【出張授業】**

内 容：学芸員が学校へ出張し、「実際に美術館に行ってみたくなるカリキュラム」を意図して、絵画のクローズアップから鑑賞するという通常とは逆の視点を提案した。前原小学校では、絵画のクローズアップをハガキ大に切り取ったカード使ってパズルを完成させ、作品を観た。南小学校では、スクリーンに作品の部分をクローズアップして投影し、イメージを膨らませた。また、展示のテーマである“ラ・ヴィ”つまり生き生きとした生命力について、代表作品や中村の言葉を交えて紹介し、美術館案内も行った。

目 的：鑑賞前の導入授業として、中村研一の作品を紹介する。後日、小学生各自が「中村研一、一枚のラ・ヴィ（生命）」の鑑賞に来館した（15 人）。

日 時：①平成 21 年 2 月 26 日（木）9:35～10:20、10:40～11:25  
 ②平成 21 年 2 月 27 日（金）9:35～10:20  
 ③平成 21 年 3 月 3 日（火）9:35～10:20

場 所：①③小金井市立前原小学校図工室  
 ②小金井市立南小学校視聴覚室

対 象：①前原小学校 4 年 1 組、4 年 3 組 計 81 人  
 ②南小学校 4 年 1 組、4 年 2 組 計 78 人  
 ③前原小学校 4 年 2 組 27 人

指導者：神津瑛子（当館学芸員）

教 材：絵画カード、スライドショー画像（24 枚）



**鑑賞教室**

学校名	実施日	時間	クラス数	生徒数	引率 教員数	交通 手段	観覧料	展覧会	指導者
第一小学校 4 年生	2008 年 11 月 27 日（木）		2	60	3	徒歩	無料	冬の彼方に ～高原の画家 ・田村一男の 世界～	大野玲、 神津瑛子
第四小学校 4 年生	2008 年 11 月 28 日（金）		1	33	2	バス			
第四小学校 4 年生	2008 年 12 月 3 日（水）		1	33	2				
第一小学校 4 年生	2008 年 12 月 4 日（木）		1	33	2	徒歩			
第一小学校 4 年生	2008 年 12 月 5 日（金）		2	61	3				
合計			7	220	12				

**出張授業**

学校名	実施日	時間	クラス数	生徒数	展覧会	指導者	教材
前原小学校 4 年 3 組	2009 年 2 月 26 日（木）	9：35-10：20	1	26	所蔵作品展 「中村研一、一枚のラ・ ヴィ」	神津瑛子	絵画カードほか
前原小学校 4 年 1 組		10：40-11：25	1	28			
前原小学校 4 年 2 組	2009 年 3 月 3 日（火）	9：35-10：20	1	27			
南小学校 4 年 1 組・ 4 年 2 組	2009 年 2 月 27 日（金）	9：40-10：25	2	78			
合計			12	599			

本年度は鑑賞教室の実施 3 年目にあたり、多摩島しよ子ども体験塾市町村助成金事業として、平成 21 年度市立はげの森美術館企画展「ガラス絵～浜松市美術館の名品～」に関連する教育普及プログラム「美術館でみる・かく・まなぶ～ガラス絵～」として、小金井市内小学校全校を対象に鑑賞教室とガラス絵制作のワークショップを実施することとなった。本年度の鑑賞教室は、小学校学校指導要領図画工作の第三学年以上に示されている「美術作品の鑑賞」に対応し、制作と鑑賞を目的とした教育普及プログラムを学校教育と連携して実施することを目指した。7 月 16 日の小金井市教育研究会とのミーティングで、図工授業内のガラス絵制作、9 月の図工部研究授業の内容が話しあわれた。

図工授業内でのガラス絵制作では、ガラス絵関連の講座を通常実施している浜松市美術館の指導を仰ぎながら、ガラス絵の特異な技法・表現に親しむとともに、その良さを味わうための授業づくりを行った。このうち、南小学校と第一小学校では、その様子を研究授業として公開した。また、東小学校は美術館での鑑賞教室の実施が困難であったため、出張授業を行った。

鑑賞教室は各校 30 ～ 50 分のプログラムで、美術館でのマナーを学んだ上で 1 階展示室、2 階展示室を鑑賞し、「美術の森」緑地を見学した。学芸員の解説を聞くというよりは、生徒の自主的な鑑賞を重視し、ワークシートなどは使用しなかった。学生アシスタント 7 人を採用し、鑑賞教室の期間中、学生アシスタントが交替で生徒達の鑑賞のサポートを行った。



#### 【出張授業】

内 容：企画展「ガラス絵～浜松市美術館の名品～」期間中の鑑賞教室にスケジュールの都合から参加できなかった東小学校について、出張授業を行った。展示中のガラス絵作品 10 点、当館所蔵の中村研一作品 5 点をはじめとする計 20 点の作品を名刺大のカードにし、これを切り離してその中からガラス絵を探し出した。数種類の組合せを提示し、感想を出し合った。

目 的：「ガラス絵～浜松市美術館の名品～」の鑑賞前の導入授業とし、ガラス絵に興味を持ってもらう。後日、出張授業を受けた東小学校の生徒 10 人が企画展観覧に来館した。

日 時：①平成 22 年 1 月 14 日（木）9:35 ～ 10:20  
②平成 22 年 1 月 20 日（水）13:45 ～ 14:30

場 所：小金井市立東小学校図工室

対 象：①東小学校 4 年 1 組 40 人 ② 4 年 2 組 39 人

指 導 者：神津瑛子（当館学芸員）

教 材：絵画カード 20 点（ガラス絵作品 10 点、中村研一作品 5 点、浮世絵作品 1 点、洋画作品 2 点、天体写真 1 点）



【小金井市教育研究会 図工研究部会 見学会および講演会】

内 容：浜松市美術館指導主事である吉川利行氏をゲストティーチャーに迎えた図工授業の見学会および、教諭を対象とした講演会。

①図工授業「ガラス絵をかこう！～小学生のガラス絵制作・方法と実践～」

②特別講演「小学校のガラス絵制作～方法と実践～」

目 的：ガラス絵の特異な技法・表現力を楽しみ、親しむ、その良さを味わうための授業づくりを検討する。

日 時：平成 21 年 9 月 11 日（金）① 13:30～14:15、② 14:15～15:30

会 場：小金井市立南小学校図工室

対 象：南小学校 4 年 3 組 31 人

講 師：吉川利行（浜松市美術館指導主事）

参加者：小金井市立小学校図工専科教諭、小金井市教育研究会図工部教諭

鑑賞教室

学校名	実施日	時間	クラス数	生徒数	引率 教員数	学生アシ スタント	交通 手段	観覧料	展覧会	指導者
緑小学校 4 年 1 組	2009 年 12 月 1 日 (火)	8:55-9:55	2	31	6	1	バス	無料	浜松市 美術館の名品 ガラス絵展	大野玲・ 神津瑛子
緑小学校 4 年 2 組			31							
緑小学校 4 年 3 組		2	31							
緑小学校 4 年 4 組			31							
第二小学校 4 年 1 組	2009 年 12 月 1 日 (火)	13:30-14:10	1	71	2	1				
第二小学校 4 年 2 組		14:30-15:10	1	2						
第三小学校 4 年生	2009 年 12 月 4 日 (金)	9:00-9:30	1	135	5	5				
		9:30-10:00	1							
		11:00-11:30	1							
		11:30-12:00	1							
本町小学校 5 年生	2009 年 12 月 4 日 (金)	13:40-14:10	1	49	3	5				
		14:30-15:00	1							
前原小学校 4 年 3 組	2009 年 12 月 8 日 (火)	14:00-14:50	1	36	2	2	徒歩	無料	浜松市 美術館の名品 ガラス絵展	大野玲・ 神津瑛子
前原小学校 4 年 1 組	2009 年 12 月 10 日 (木)	11:00-11:50	1	37	3	2				
前原小学校 4 年 2 組	2009 年 12 月 11 日 (金)	14:00-14:50	1	37	2	3				
第四小学校 4 年生	2009 年 12 月 15 日 (火)	9:20-10:00	1	105	4	2				
		10:20-11:00	1							
		11:20-12:00	1							
第一小学校 4 年生	2009 年 12 月 17 日 (木)	9:05-10:05	1	72	不明	2	バス			
		11:00-12:00	1							
第一小学校 4 年生	2010 年 1 月 13 日 (水)	9:05-10:05	1	72	不明	0				
		11:00-12:00	1							
南小学校 4 年生	2010 年 1 月 21 日 (木)	9:30-10:00	1	33	不明	2		徒歩		
		11:00-11:30	1	33						
		11:30-12:00	1	33						
合計			25	837	29	25				

出張授業

学校名	実施日	時間	クラス数	生徒数	展覧会	指導者	教材
南小学校 4 年 3 組	2009 年 9 月 11 日 (金)	授業 13:30-14:15 講演会 14:15-15:30	1	31	浜松市 美術館の名品 ガラス絵展	吉川利行 (浜松市美術館指導主事)	_____
東小学校 4 年 1 組	2010 年 1 月 14 日 (木)	9:35-10:20	1	40		神津瑛子	絵画カード 20 点
東小学校 4 年 2 組	2010 年 1 月 20 日 (水)	1:45-2:30	1	41			
合計			3	112			

3月12日(金)に小金井市教育研究会図工部とのミーティングを行い、21年度の企画展「ガラス絵～浜松市美術館の名品～」鑑賞教室の感想・反省・問題点などを話し合った上で、本年度の鑑賞教室の方針を決定した。本年度は、企画展「新潟市新津美術館より 笹岡了一 抽象と具象の狭間で」鑑賞教室を、小金井市内小学校全校の4・5年生対象に実施した。市内小学校9校のうち8校が参加し、のこる1校のみ、所蔵作品展「中村研一の人物画」会期中に先行して実施した。

本年度は、小金井市教育研究会図工研究部会との連携による研究授業は特に行わず、美術館のみの鑑賞教育を中心とした。従来からの改善点としては、まず移動に使用するバスの便宜性を向上するべく時間などの工夫を行ったこと、各小学校の図工専科教員の要望があったことから、プログラムを40分から75分の幅のある設定にしたことがあげられる。



#### 【鑑賞教室】

内 容：学芸員が笹岡の作品について説明した後、生徒の自主性に基づく作品鑑賞を行った。2階展示室および「美術の森」緑地も鑑賞・見学し、実施後、各小学校の図工専科教員に鑑賞教室のアンケートを行い、感想や今後の課題を寄せてもらった。

目 的：地域の美術館に実際に赴くことで、児童それぞれが実感を持って作品を鑑賞する。

日 時：①小金井市立前原小学校 9月15日(水)、9月16日(金)、9月28日(火)

※所蔵作品展「中村研一の人物画」会期中に先行して実施

②小金井市立緑小学校 11月25日(木) 9:05~10:00、10:00~11:00、11:00~12:00

③小金井市立第三小学校 12月2日(木) 9:00~9:45、9:40~10:20、10:20~11:00、11:00~11:40

④小金井市立第二小学校 12月3日(金) 9:15~10:15、10:45~11:45、13:45~14:35

⑤小金井市立第四小学校 12月7日(火) 9:00~10:15、10:45~12:05、13:45~15:05

⑥小金井市立南小学校 12月14日(火) 9:00~9:40、9:45~10:25、10:55~11:35

⑦小金井市立本町小学校 12月16日(木) 9:10~10:00、10:55~11:45、13:15~14:05、14:10~15:00

⑧小金井市立第一小学校 12月17日(金) 9:30~10:10、11:10~11:50、14:00~14:40

⑨小金井市立東小学校 12月21日(火) 9:15~10:15、10:45~11:45、13:45~14:45

会 場：小金井市立はげの森美術館、「美術の森」緑地

対 象：市内小学校4年生、5年生 (① 107名、② 101人、③ 140人、④ 90人、⑤ 93人、⑥ 88人、⑦ 136人、⑧ 107人、  
⑨ 100人)

指導者：神津瑛子(当館学芸員)

## 鑑賞教室

学校名	実施日	時間	クラス数	生徒数	引率 教員数	交通 手段	観覧料	展覧会	指導者				
前原小学校 4年2組	2010年9月15日(水)	9:05-10:00	1	37	4	徒歩	無料	所蔵作品展 「中村研一の人物画 ～特別展示 新収蔵品 「シンガポールへの道」～」	神津瑛子				
前原小学校 4年3組	2010年9月16日(木)	11:00-12:00	1	35	2								
前原小学校 4年1組	2010年9月22日(水)	9:05-10:00	1	35	2								
緑小学校 4年1組	2010年11月25日(木)	9:05-10:00	1	106	4	バス	無料						
緑小学校 4年2組		9:45-10:30	1										
緑小学校 4年3組		11:00-12:00	1										
第三小学校 4年1組	2010年12月2日(木)	9:00-9:45	1	139	5								
第三小学校 4年2組		9:45-10:30	1										
第三小学校 4年3組		10:30-11:15	1										
第三小学校 4年4組		11:15-12:00	1										
第二小学校 4年1組	2010年12月3日(金)	9:15-10:15	1	30	3								
第二小学校 4年2組		10:45-11:45	1	30	3								
第二小学校 4年3組		13:35-14:35	1	29	2								
第四小学校 4年1組	2010年12月7日(火)	9:00-10:15	1	61	5								
第四小学校 4年2組		10:45-12:05	1										
第四小学校 4年3組		13:45-15:05	1							30	3		
南小学校 4年3組	2010年12月14日(火)	9:00-9:40	1	83	3					徒歩	無料	笹岡了一展 ～抽象と具象の狭間で～	神津瑛子
南小学校 4年1組		9:45-10:25	1		3								
南小学校 4年2組		10:55-11:35	1		3								
本町小学校 4年生・ 5年生	2010年12月16日(木)	9:10-10:00	1	155	5	バス	無料						
		10:55-11:45	1		4								
		13:15-14:05	1										
		14:10-15:00	1										
第一小学校 4年3組	2010年12月17日(金)	9:30-10:10	1	68	5	徒歩	無料						
第一小学校 4年2組		11:10-11:50	1										
第一小学校 4年1組		14:00-14:40	1							34	2		
東小学校 4年1組	2010年12月21日(火)	9:15-10:15	1	66	5	バス	無料						
東小学校 4年2組		10:45-11:45	1										
東小学校 4年3組		13:45-14:45	1							30	2		
合計			29	968	65								

## 2) 学習支援

小学生から大学生までの学生が調べ学習等の課題で美術館に来館した際、必要に応じて学芸員が学習の補助や助言を行った。

## 平成 20 年度

日時	対象	人数	展覧会	
2008年7月19日(土)	市外高校生	2	所蔵作品展Ⅱ ～中村研一、画家 のまなざし～	
2008年7月24日(木)	市内中学生	2		
2008年8月2日(土)		7		
2008年8月10日(日)		4		
2008年8月12日(火)		8		
2008年8月15日(金)		近隣の大学性		3
2008年8月16日(土)	市外中学生	3		
2008年8月22日(金)	市内中学生	2		
2008年8月23日(土)		3		
2008年8月30日(土)	市内小学生	2		
2008年8月31日(日)	市外中学生	7		
2008年9月21日(日)	市内小学生	2		
合計		45		

## 平成 21 年度

日時	対象	人数	展覧会	
2009年7月31日(金)	市外中学生	4	田中絹代 ～シネマに 恋して～	
2009年8月2日(日)		4		
2009年8月15日(土)		市内中学生		3
2009年8月16日(日)		市外中学生		5
合計		16		

### 3) 博物館学実習等見学授業の受入れ

当館では、博物館学課程の実習の一環にあたる実施授業を、大学等から依頼を受けた際に、例外的に受け入れてきた。平成21・22年度の2回実施し、施設見学や学芸員業務の実務実習を3日間の日程で行った。これは正式な「博物館実習」に該当する内容のものではなく、実習受け入れのための職員体制・プログラム編成等の問題により、平成23年時点では博物館実習の受入れを行っていない。

#### 平成21年度

---

講義名：博物館学実習Ⅲ（美術）B

内 容：施設見学、資料整理実習、調書作成実習、作品取扱い実習、照明実習、展示作業実習

日 時：平成21年6月13日（土）、20日（土）、27日（土）各日13:00～14:30

場 所：小金井市立はげの森美術館

講 師：大野玲（立正大学非常勤講師、当館学芸員）

受講者：立正大学4年生

#### 平成22年度

---

講義名：博物館学実習Ⅲ（美術）B

内 容：施設見学、資料整理実習、調書作成実習、作品取扱い実習、照明実習、展示作業実習

日 時：平成22年6月5日（土）、12日（土）、7月3日（土）各日13:00～14:30

場 所：小金井市立はげの森美術館

講 師：大野玲（立正大学非常勤講師、当館学芸員）

受講者：立正大学4年生

#### 4) 職場体験学習

美術館に依頼のあった市立中学校の「職場体験学習」の受け入れを、平成20年度から実施した。職場体験学習は「総合的な学習の時間」の一環として生徒自身が希望する職場で勤労体験を行うもので、体験学習を通して生徒に社会の一員として“生きる力”を身に付けてもらうことを目的としている。2日間の勤労体験を通し、働くことの意義や充実感を体で感じ取り職業理解をより深め、人と人との関わりの中から「共生の心」を学んでもらう。

#### 平成20年度

---

内 容：学芸員の指導のもと、施設見学、資料の扱い方法、受付・監視業務など、美術館運営と学芸員の業務について、2日間の日程で学んだ。事後学習として壁新聞を制作し、感想文を提出した。

日 時：事前打合せ 1月28日(水)

平成20年2月4日(水)、5日(木) 各日9:00～16:00

対 象：小金井市立緑中学校 2年生 3名

#### 平成21年度

---

内 容：1日目は、企画展「ガラス絵～浜松市美術館の名品～」の、小金井市立第二小学校の鑑賞教室と重なったため、中学生3名に鑑賞教室の補助(監視等)をしてもらうなど、教育普及事業の見学と運営補助の体験学習とした。2日目は、生徒が自分たちで内容を考え、来館者と職員に向け展示についてのプレゼンテーションを行った。3日目は、収蔵庫見学、また資料の取扱い方法を学び、事後学習としてレポートを提出した。

日 時：平成21年12月1日(火)、2日(水)、3日(木)

各日9:00～14:30

対 象：小金井市立緑中学校 1年生 3名



#### 平成22年度

---

内 容：平成22年度は、美術館閉館中に実施したため、3日間を通し、展覧会準備に関わる美術館の仕事を経験した。1日目は、はげの森美術館を知るためのワークとして、過去のチラシ・カタログ・掲載誌などの資料を使って「宣伝パンフレット」を制作した。また、展覧会の成り立ちについて説明を受け、印刷会社との打合せへの参加、展示ポスターの額装などを行った。次回展覧会の広報の一環として、徒歩圏内の関係機関にチラシを持参した。2日目は、作品の取扱いについて学び、食器を作品に見立てて美術梱包の体験をした。3日目は、完成した「宣伝パンフレット」を使用し美術館職員の前でグループ発表をした。また、2月19日開催のワークショップ「バルーンの森で迷路あそび」の準備作業を行い、ワークショップ講師の指導の下、風船を膨らませて連結させたり、当日の看板を作成するなどした。

日 時：平成22年2月15日(火)、16日(水)、17日(木)

対 象：小金井市立緑中学校 1年生 7名



#### 4. 団体見学・団体への解説

小金井市立はげの森美術館では、事前に希望があった場合、企画展および所蔵品展のギャラリートークを団体来館者に対して行っている。また平成 22 年度からは、団体見学の申請書を試験的に作成し、問い合わせがあった場合、団体名、来館者人数等を記入した申請書の提出をお願いしている。今後は、年度毎の正確な団体数、団体見学者数の把握が可能になると思われる。

団体見学者へのギャラリートークの内容は、1 階展示室で開催中の展覧会の趣旨、中村研一の画業や関連するエピソードの紹介、作品解説など概ね 30 分程度とした。

#### 団体見学に対するギャラリートークの実施

##### 平成 18 年度

	ギャラリートーク無し	ギャラリートーク実施	合計
団体数	3	0	3
団体来館者人数総計	不明	0	不明

##### 平成 19 年度

	ギャラリートーク無し	ギャラリートーク実施	合計
団体数	0	0	0
団体来館者人数総計	0	0	0

##### 平成 20 年度

	ギャラリートーク無し	ギャラリートーク実施	合計
団体数	11	7	18
団体来館者人数総計	239	128	367

##### 平成 21 年度

	ギャラリートーク無し	ギャラリートーク実施	合計
団体数	7	1	8
団体来館者人数総計	193	26	219

##### 平成 22 年度

	ギャラリートーク無し	ギャラリートーク実施	合計
団体数	6	4	10
団体来館者人数総計	153	108	261

## 4. 作品及び資料

### 1. 作品収集

#### 1) 所蔵作品・資料の点数推移と現状

小金井市立はげの森美術館は、平成 16 年に財団法人中村研一記念美術館から小金井市に寄贈された中村研一作品を中心とする美術作品約 800 点を所蔵している（遺品類を除く）。中村研一記念美術館開館当初（平成元年）は、499 点であった。しかしその後平成 16 年まで、中村研一記念美術館によって積極的な収集活動が行われ、所蔵作品の点数は 30% 以上増加し 499 点から 776 点となった。この期間の収集活動では、中村研一に関連する作家の作品も収集された。

その後、財団法人中村研一記念美術館の解散に伴い、上述のコレクションは小金井市に寄贈された。小金井市立はげの森美術館開館時点（平成 18 年 4 月 1 日）で、寄贈を受けた美術作品 738 点の内訳は、中村研一作品が 705 点（96%）、その他の作家による作品 33 点（4%）であった。さらに中村研一作品の内訳は、油彩 142 点（18%）、素描 465 点（66%）、陶芸 96 点（14%）であった。

小金井市立はげの森美術館として開館してからの活動の中で、平成 22 年度までに、寄贈によって中村研一の油彩 2 点をはじめとして、水彩・素描 20 点、陶芸 6 点などの計 46 点加わった。平成 23 年 4 月 1 日現在、当館所蔵のコレクション総点数は 784 点である。また、作品以外に、多数の遺品類の所蔵がある。

編註：財団法人中村研一記念美術館と小金井市立はげの森美術館では、作品の数え方が異なるため、総点数や作品の内訳数に若干の違いが生じている。

#### 2) 作品収集方針

当館の作品収集方針については、平成 19 年度第 2 回収集評価委員会（2007 年 3 月 30 日開催）での協議を経て、平成 19 年度第 1 回運営協議会（2007 年 6 月 29 日開催）で下記の通り決定された。開館以降 5 年間における作品収集活動は、作品購入に充てられた予算がないため、基本的に寄贈のみである。所有者より寄贈の申出があった場合に、収集方針に従い収集評価委員会で審議の上決定し、受入れを行ってきた。

#### ◆小金井市立はげの森美術館美術作品収集方針

1. 中村研一と関連作家の作品を対象とし、中村研一の画業及び同時代の近代洋画の展開が把握できる、油彩、水彩、素描等の秀作
2. 小金井市を含む多摩地域にゆかりの深い近・現代絵画（油彩、水彩、素描、日本画、版画等）の秀作
3. 子どもの鑑賞教育に資する、平面及び様々な表現媒体によるメディアアートの作品

#### 3) 平成 18～22 年度新収蔵作品の概要

平成 18 年度から平成 22 年度までの新収蔵作品については、中村研一作品の他、企画展に出品した現代美術作家や、中村が所属した光風会の作家など、中村以外の作品の寄贈もあった。また、平成 22 年度には、中村研一の戦争記録画《シンガポールへの道》（1943）、さらに当館内で保管していた旧財団法人中村研一記念美術館所有の作品のうち、開館当初寄贈リストに入っていなかったものが一括で寄贈された。その他、挿絵原画などの寄贈があった。

4) 資料・集計表

■平成 16 年（2004）に財団法人中村研一記念美術館より小金井市が寄附を受けた作品一覧

寄贈年度	種別 作家名	油彩	水彩・素描	版画	陶芸	彫刻	写真	書	資料	合計
		平成 16 年度	石井柏亭	1		1				
	岡田三郎助	1	2							3
	黒田久美子	10								10
	黒田清輝	1								1
	高光一也	1								1
	辻永	4	1							5
	中村研一	142	465	1	96				1	705
	中村琢二	1								1
	中沢弘光	1								1
	長原孝太郎	1								1
	藤島武二		1	1						2
	藤田嗣司		1	1						2
	南薫造		1							1
	村岡平蔵	2								2
	モーリス・アスラン		1							1
	種別合計	165	472	4	96	0	0	0	1	738

■小金井市立はげの森美術館開館後に寄贈を受けた作品一覧（平成 18 年 4 月～平成 22 年 3 月）

寄贈年度	種別 作家名	油彩	水彩・素描	版画	陶芸	彫刻	写真	書	資料	合計
		平成 17 年度	多田正美						1	
	奥田直人	1								1
平成 20 年度	多田正美						2			2
	中村研一								1	1
	柳瀬俊雄	2								2
	鈴木翠軒							2		2
平成 22 年度	中村研一	2	20		6				3	31
	田村一男 他2名								2	2
	堂本印象								3	3
	吉田三郎					1				1
	種別合計	5	20	0	6	1	3	2	9	46



## 2. 作品貸出

展覧会の内容や作品の状態、展示会場等の諸条件を考慮しつつ、他館からの依頼により当館の所蔵作品を貸し出した。

## ■所蔵作品の館外貸出 平成18年～22年度

年度	作者名	作品名	種別	制作年	展覧会名	会場	会期
平成19年度	中村研一	バラ	油彩	1967	日本近代画家の絶筆	兵庫県立美術館	2007年5月29日(火) ～7月8日(日)
						松本市美術館	2007年7月13日(金) ～8月19日(日)
						富山県水墨美術館	2007年8月24日(金) ～9月30日(日)
平成22年度	中村研一	フランス婦人像	油彩	1928	宗像ユリックス市民ギャラリー ／オープニングイベント： 第1部 中村研一展(中村研一 記念小金井市立はげの森美術館 展)	宗像ユリックス 市民ギャラリー	2010年4月10日(土) ～5月16日(日)
	中村研一	中村正奇氏の肖像	油彩	1929			
	中村研一	画室	油彩	1948			
	中村研一	夏	油彩	1959			
	中村研一	足柄より	油彩	1937			
	中村研一	夏の庭	油彩	1964			
	中村研一	裸婦	油彩	1953 頃			
	中村研一	坐裸婦	油彩	1965			
	中村研一	花	油彩	1924			
	中村研一	花	油彩	1960			
	中村研一	『コタバル』のエスキース	墨	1942			
	中村研一	『サタファロング』のエスキース	墨	1944			

## 5. 刊行物・販売物

### 刊行物概要

#### 1) 展覧会カタログ・リーフレット

小金井市立はげの森美術館の出版物では、開館初年度および次年度にあたる平成18年度・19年度に企画展のカタログ3冊の制作を行った。現状では、当館の所蔵作品目録の刊行予定がないため、「中村研一回顧展」(平成18年度)の際に発行したカタログを、当分の所蔵作品目録に代替する資料とし、紹介している。平成19年度までは、所蔵作品展・企画展ともに各回ごとのリーフレットを制作してきたが、平成20年度からは企画展時のみリーフレットを作成し、展覧会の出品目録および作品解説を兼ね、来館者に配布してきた。リーフレットは規格・ページ数も定番化してきたが、「開館5周年記念特別展 中村研一展 制作の軌跡・日常の跡形」(平成22年度)では、規格・ページ数を増大し制作した。

#### 2) その他

小金井市立はげの森美術館では、「子ども向けの教育普及」を充実させることを目的に、子ども向けのワークショップや市内小学校の鑑賞教室で使用する教材として、独自のワークシートを制作してきた。企画展「Art-Full 2 CIRCULATION 天から 地から」(平成19年度)を除いては、館内で編集・制作・印刷を一貫して行った。

### 刊行物一覧表

#### 外注印刷物

種別	刊行物名称	発行年月	仕様	頒布価格	内容等	奥付等	備考
リーフレット	中村研一記念 小金井市立はげの森美術館 所蔵作品より	平成18年 4月1日	A4版(A3ニツ折)、 カラー、6ページ	無料	・ごあいさつ ・カタログ・解説(図版8点、カラー) ・中村研一略歴	編集:中村研一記念小金井市立はげの森美術館 デザイン:後藤保紀 印刷:社会福祉法人東京コロニー	
カタログ	中村研一回顧展	平成18年 10月3日	A4版、カラー、 48ページ	600円	・肖像写真1点 ・評論「昭和のレオレスト中村研一的位置」 古川智次(福岡大学人文学部教授) ・カタログ・解説(図版30点、カラー) ・参考作品(図版12点、モノクロ) ・中村研一略歴 ・参考文献 ・展示作品リスト	編集:中村研一記念小金井市立はげの森美術館 撮影:内田芳孝、星野敏男、盛山重信 デザイン:後藤保紀 制作:株式会社アトミ	
カタログ	Art-Full アート湧くはげの森	平成18年 12月15日	B5版(横判)、 カラー、36ページ	600円	・「Art-Fullへのご招待」横田佳世(当館学芸員) ・写真42点 ・「観照するアート」塚本豊子(双ギャラリー) ・出品作家 ・展示作品リスト ・「ワークショップおよび「アートって何?」展に寄せて」(多田正美/柴田敏雄/吉澤美香/松下誠子)	編集:双ギャラリー、中村研一記念小金井市立はげの森美術館 表紙写真:多田正美 デザイン:東京学芸大学デザイン研究室 制作:社会福祉法人あかつきコロニー印刷	
リーフレット	平成19年所蔵作品展II 中村研一の観た風景	平成19年 6月22日	A4版(A3ニツ折)、 1色、3ページ	無料	・カタログ・解説(図版6点、1色) ・中村研一をもっと知るためのキーワード5	編集:中村研一記念小金井市立はげの森美術館 印刷:株式会社アトミ	
リーフレット	堂本印象美術館展	平成19年 10月19日	A5変形三ツ折 (21.0×44.5)、2色、 6ページ	無料	・作品図版(6点、1色) ・展示解説(1章~4章) ・展示作品リスト ・堂本印象ってどんな人? ・堂本印象美術館利用案内	制作:中村研一記念小金井市立はげの森美術館 制作協力:東京学芸大学デザイン研究室 印刷:株式会社アトミ	
リーフレット	2008年所蔵作品展I 館蔵品に みる中村研一、人と芸術	平成20年 3月26日	B5(B4ニツ折)、 2色、4ページ	無料	・これであなたも研一通!? ①Q&A 研一編 ②Q&A はげの森美術館編 ・展示作品リスト	制作:中村研一記念小金井市立はげの森美術館 印刷:株式会社アトミ	
カタログ	Art-Full2 CIRCULATION 天から 地から	平成20年 1月12日	B5、カラー、68ページ	600円	・カタログ・解説(図版40点、カラー) ・「天・地・<生命>」塚本豊子(双ギャラリー) ・柴田敏雄と多田正美—コンテンポラリー—アートの表現領域を拡張するふたりのアーティストについて」新畑泰秀(横浜美術館主任学芸員) ・作家略歴 ・展示作品リスト	編集:双ギャラリー 塚本豊子 デザイン:塚本瑞恵 翻訳:ロバート・リード 会場撮影:池田葉子 印刷:日野テクニカルサービス株式会社	
ワークシート	Art-Full2 CIRCULATION 天から 地から 子どもたち展	平成20年 2月5日	A4、カラー、4ページ	無料	・作品図版(4点、カラー)	制作:中村研一記念小金井市立はげの森美術館 印刷:株式会社アトミ	
リーフレット	松本市美術館・田村一男記念室 より 冬の彼方に~高原の画家・ 田村一男の世界~	平成20年 10月18日	A5変形三ツ折 (21.0×44.5)、 カラー、6ページ	無料	・作品図版(7点、カラー) ・田村一男ってどんな人? ・展示作品一覧 ・松本市美術館利用案内	制作:中村研一記念小金井市立はげの森美術館 編集デザイン:東京学芸大学デザイン研究室(千葉美波、植村明音、丑丸奏枝) 印刷:株式会社アトミ	

種別	刊行物名称	発行年月	仕様	頒布価格	内容等	奥付等	備考
リーフレット	田中絹代 ～シネマに恋して～	平成21年 7月1日	A5変形四ツ折 (13.0×18.2)、 カラー、14ページ	無料	・シネマに恋して～生誕100年記念・ 女優田中絹代の軌跡 ・田中絹代略年譜 ・「武蔵野夫人」をたずねて ・下関市田中絹代ぶんか館紹介	制作：中村研一記念小金井市立はげの森美術館 デザイン制作：東京学芸大学デザイン研究室（植村明音、丑丸奏枝、赤川まどか） 印刷：シンソー印刷株式会社	
リーフレット	浜松市美術館の名品 ガラス絵	平成21年 11月	A5変形三ツ折 (21.0×44.5)、 カラー、6ページ	無料	・展示解説 ・作品図版(9点、カラー) ・展示作品リスト ・浜松市美術館利用案内	制作：中村研一記念小金井市立はげの森美術館 編集デザイン：東京学芸大学デザイン研究室（植村明音、丑丸奏枝、赤川まどか、上野慎子） 印刷：シンソー印刷株式会社	
リーフレット	新潟市新津美術館より 笹岡一展 ～抽象と具象の狭間で～	平成22年 9月28日	A5変形三ツ折 (21.0×44.5)、 カラー、6ページ	無料	・作品図版(5点、カラー) ・笹岡一ってどんな人？ ・展示作品リスト ・新潟市新津美術館利用案内	編集・執筆：中村研一記念小金井市立はげの森美術館（神津瑛子） デザイン：東京学芸大学デザイン研究室（赤川まどか、上野慎子、進本茉莉奈、西村祐紀） 印刷：シンソー印刷株式会社	
リーフレット	開館5周年記念特別展 制作の軌跡・日常の跡形	平成23年 2月28日	A4(A3中綴じ)、 カラー、8ページ	無料	・展示解説 ・作品図版(8点、カラー) ・展示作品リスト ・企画展解説 ・中村研一略年譜(改訂版)折込み	編集・執筆：中村研一記念小金井市立はげの森美術館（荒木和） デザイン：東京学芸大学デザイン研究室（冨塚裕佳子） 印刷：高尾印刷	附中村研一略年譜(A3二ツ折)

## 館内印刷物

種別	刊行物名称	発行年月	仕様	頒布価格	内容等	奥付等	備考
ワークシート	こどもワークシート	平成18年 8月	A4、1色、8ページ	無料	・作品図版(2点、1色)	制作・印刷：中村研一記念小金井市立はげの森美術館	「夏休みキッズ・トーク」で配布
ワークシート	Art-Full展 児童用ワークシート	平成18年 12月	A4、1色、4ページ	無料	・作品図版(6点、1色)	制作・印刷：中村研一記念小金井市立はげの森美術館	市内小学校鑑賞教室用
ワークシート	堂本印象展 こども鑑賞シート	平成19年 10月	A5(A4二ツ折)	無料	・作品図版(4点、1色)	制作・印刷：中村研一記念小金井市立はげの森美術館	
報告書	公開シンポジウム 小さな美術館からの声 ～市民と共に歩む今とこれから～ 報告書2007.11.11開催	平成21年 4月1日	A4(A3中綴じ)、 1色、12ページ	無料	・出演者プロフィール ・シンポジウム概要(I各個人美術館発表、II調査報告、IIIパネルディスカッション) ・アンケート結果	編集：中村研一記念小金井市立はげの森美術館（松山ひとみ、奥友絵里子、大野玲）、 東京学芸大学大学院修士課程（池田香織、井深優子）	関係者・関係機関のみ配布

## 販売物概要

小金井市はけの森美術館の活動や所蔵作品を周知し、また来館者にとって記念・思い出になる品物を受付横のスペースで販売している。

### 1) 展覧会カタログ

「中村研一回顧展」カタログ（平成 18 年度）など、企画展の際に発行したカタログ 3 冊を企画展終了後も参考資料として販売している。

### 2) ミュージアムグッズ

実用性があり、気軽に購入できるものとしてポストカード、一筆箋を販売している。ポストカードについては、当館所蔵

の中村研一作品のうち十数点を選び、フルカラー印刷、裏面に小金井市立はけの森美術館ロゴを配置している。一筆箋は表紙に中村研一のサイン「K.Nakamura」と作品の図柄をあしらい、便箋は罫線入り、作品をワンポイントで配置した 20 枚綴りのものを 2 種類制作している。

### 3) 企画展関連商品

他館のユニークなコレクションを紹介する企画展の際、展示作品の掲載されている、所蔵館発行の図録やポストカード、ブックカバーなどのオリジナルグッズを販売した。また平成 21 年度の「田中絹代～シネマに恋して～」展では、出展作品の所蔵・管理団体による図録の他、田中絹代のプロマイド写真を販売した。

## 販売物一覧

### 小金井市立はけの森美術館制作

	価格
ポストカード	《猫》 50 円
	《花（紫）》 50 円
	《チューリップ》 50 円
	《仏婦人》 50 円
	《果物》 50 円
	《バラ（絶筆）》 50 円
	《仏風景》 50 円
	《早春》 50 円
	《花》 50 円
	《パンジー》 50 円
	《食卓》 50 円
	《バラ》 50 円
	《木陰》 50 円
	《出雲 取手付猫面壺》 50 円
	《自画像》 50 円
	《婦人像》 50 円
一筆箋	《猫》 200 円
	《蛙》 200 円

### 企画展関連販売物

	価格
<b>堂本印象美術館展</b>	
ポストカード	《深草》 100 円
	《美術館外観》 100 円
	《高山右近》 100 円
	《細川ガラシャ》 100 円
ブックカバー	白 840 円
	黒 840 円
<b>冬の彼方に～高原の画家・田村一男の世界～</b>	
図録	「索々として田村一男 染みわたる 生誕百年記念展」 2600 円
	「田村一男 作品選 2002」 2100 円
ポストカード	《雪国》 100 円
	《北信濃》 100 円
	《ゆきのくに》 100 円
	《冬声》 100 円
	《明けゆく立山への道》 100 円
	《たてしな山》 100 円
	《雪の白樺湖》 100 円
一筆箋	《北信濃》 260 円
	《グラナダの丘》 260 円
<b>田中絹代～シネマに恋して～</b>	
図録	「田中絹代の世界」 1200 円
プロマイド写真	5 種 各 350 円
<b>浜松市美術館の名品 ガラス絵展</b>	
図録	「館藏品目録 ガラス絵」 2000 円
ポストカード	《聖母子図》 50 円
	《広東港内の景》 50 円
	《青服を着た中国婦人図》 50 円
	《紅毛女人海辺舞踏図》 50 円
	《女と洋童図》 50 円
	《簪を挿す女》 50 円
	《手古舞美人》 50 円
	小出楯重《市街風景》 50 円
	《和蘭船のガラス絵をはめた硯屏》 50 円
一筆箋	《手古舞美人》 250 円
トートバッグ	800 円
<b>笹岡了一 具象と抽象の狭間で</b>	
図録	「笹岡了一 1907/1987」 1575 円

※本販売物一覧は平成 23 年 4 月時点のものである。企画展関連販売物については、既に当館での販売を終了したものも含まれている。なお、当館による刊行物については、前掲刊行物一覧を参照されたい。

## 6. 広報活動

### 案内リーフレット

#### A4判 3ツ折フルカラー

掲載内容：設立趣旨、主な収蔵品、中村研一について、館の沿革、館内配置図、  
交通案内、利用案内、「美術の森」緑地について

当館受付の他、市内各所等で配布。当館利用に関する基本的な情報を分かりやすく掲載している。

### インターネット掲載、ウェブページ

#### 1) 小金井市立はけの森美術館

近年、展示内容やアクセス方法などの情報をインターネット検索によって得る人は増加しており、小金井市公式ウェブサイト（URL：<http://www.city.koganei.lg.jp/>）の中に当館の情報ページを設けている。

小金井市立はけの森美術館ウェブページ URL

[http://www.city.koganei.lg.jp/kakuka/shiminbu/shiminbunkaka/hakenomori/hakenomori\\_top.html](http://www.city.koganei.lg.jp/kakuka/shiminbu/shiminbunkaka/hakenomori/hakenomori_top.html)

#### 閲覧可能なコンテンツ

- 開催中展覧会のご案内
- 次回展覧会
- 美術館の概要
- 利用案内
- 過去の展覧会
- 教育普及活動

利用者の利便性を考慮し、ページ開設後、コンテンツの増加やデザインの見直しなどを随時行ってきた。今後も内容の充実、特色あるページ作りを図る必要がある。

#### 2) 外部インターネットサイトへの情報提供

当館の公式ウェブページ以外に、アート関連の情報サイトや、地域情報サイトなどに展示内容についての情報を随時提供している。また、平成22年度には「文化遺産オンライン」に当館所蔵作品の一部を掲載した。「文化遺産オンライン」の詳細については、「7. 調査研究」を参照されたい。

1) 展示関連記事等

企画展など個別の展示関連の記事掲載については「3. 展覧会」各ページを参照されたい。

2) はけの森美術館に関する記事等

特定の展示ではなく、はけの森美術館そのものについての紹介記事・情報掲載等について、平成18年度から平成22年度までの主要なものを以下に記載した。

(1) 新聞

「坂のある街 『はけ』と『おお坂』(小金井市) 武蔵野彩る水と緑」『定年時代』2007年6月上旬号  
「美術館への招待 中村研一記念小金井市立はけの森美術館 武蔵野への暖かい視線」『東京新聞』  
2009年5月21日※『北陸中日新聞』同日付にも同記事掲載  
藤森照信「東京どんぶらこ 437 武蔵小金井」『東京新聞』2010年7月10日

(2) 雑誌

「小金井市にはけの森美術館オープン」『月刊展覧会ガイド』2006年8月号  
「野川・はけの道」『多摩ら・び』2006年10月号(No.52)  
「ミュージアム探訪 中村研一記念小金井市立はけの森美術館 湧き水の流れる森の中の美術館」『月刊展覧会ガイド』2007年10月号  
「武蔵小金井から玉川上水・井の頭公園へ」『散歩の達人 テーマ版 MOOK 50歳からの東京ウォーキング』2008年10月  
「「となりのトトロ」から最新作「借り暮らしのアリエッティ」まで ジブリの名作風景をめぐる おでかけガイドブック」『MOE』2010年9月号(通巻371)

(3) 書籍

『東京ミュージアムコレクション』成美堂出版 2007年10月  
『新潟・隣県美術館・博物館巡り』株式会社ニューズ・ライン 2007年10月  
『首都圏美術館・博物館ベストガイド』メイツ出版 2008年4月  
『東京ミュージアムコレクション. 2009』成美堂出版 2008年11月  
『TOKYO 美術館 2010-2011』柘出版社 2010年2月  
『TOKYO 美術館 2011-2012』柘出版社 2011年2月

(4) 放送・放映

NHK ラジオ第1「ラジオ深夜便」2006年12月28日  
J.COM チャンネル「HOMETOWN」2007年1月14日～20日  
JCN 武蔵野三鷹 JCN プラスチャンネル「ニュースワイド武蔵野三鷹」2007年1月19日～23日  
テレビ朝日「東京サイト 春の野川」2008年4月21日～25日 13:55-14:00  
中央快速線トレインチャンネル「東京ぶらぶら散歩 武蔵小金井篇1・2」2009年7月16日～7月22日  
テレビ朝日「たまわーるで多摩まわる」『東京サイト』2010年11月25日 13:55-13:59

## 7. 調査研究

### 1) 平成 20 年度 福岡県における中村研一作品についての調査報告

大野 玲、中村ひの<sup>1</sup>

#### 1. 調査概要

実施年月日 平成 20 年 12 月 16 日～ 19 日  
実施場所 中村研一・琢二生家美術館ほか福岡県内各所

#### 2. 調査目的と内容

##### 【1】対象地域の選定理由、調査目的

中村研一の出身地である福岡県には、まとまった数の中村作品を所蔵する美術館や個人が多い。なかでも、福岡県宗像市の中村研一・琢二生家美術館（生家美術館）は中村富子氏（中村研一夫人、2009 年逝去）を通し、当館とも日頃より連絡を密にしていた。このことから生家美術館より、福岡県所在の中村作品やその所蔵者に関する情報提供を受けることができ、他の地域に比べ調査実施の準備が格段に進んでいた。

調査を実施する上での基盤が整備され、一定の成果が期待できると判断し、福岡県立美術館、福岡市美術館、生家美術館の 3 館を中心に、個人所蔵を含む福岡の中村作品について、可能な限り多くの作例を実見し記録を作成することを目的に調査を実施した。

##### 【2】調査内容

情報収集にあたって、重視したのは以下の点である。まず、当館の所蔵する中村作品には、制作年不詳のものが多く存在する。これらの作品の制作年代推定を進める上で、画風の変遷を把握することは大きな意味を持っている。次に中村の、当時の画壇、また美術史における位置づけを考察する上でも、各時代の制作環境や制作背景などを読み解く必要がある。これらの情報を今回の調査によって得たいと考えた。

調査は当館学芸員・大野玲が行った。なお、現地では生家美術館館長の中村嘉彦氏が同行した。調査地の選定および所蔵者への調査依頼についても一部同氏の協力を得た。

##### 【3】調査地、調査日程

12 月 16 日 調査場所：福岡県立美術館 他 2 ヶ所  
調査作品数：計 18 点  
12 月 17 日 調査場所：福岡市美術館 他 2 ヶ所  
調査作品数：計 7 点  
12 月 18、19 日 調査場所：中村研一・琢二生家美術館 他 1 ヶ所  
調査作品数：計 40 点

※全調査作品については本項目末の調査作品リストを参照

##### 【4】主な成果

今回の調査では合計 67 点の作品、1 点の資料を調査することができた。特に、フランス留学前、東京美術学校在学時代などの戦前期の作品、1930 年代から 1940 年代前半までの戦争に係る時期に制作された作品など、現存例の少ない初期作例を多く確認できた。これらの調査を通じ、中村研一の画業を理解する上で重要な点について、

1：戦前・戦中期の、軍事に関わるモチーフを描いた作品の成立

2：主に戦後の、女性像や花、風景など、中村自身の生活に接したモチーフを描いた作品の成立  
の 2 つの視点から、新たな情報を得ることができた。

## 1：戦前・戦中期の、軍事に関わるモチーフを描いた作品の成立

特に国外で描かれた空母や戦艦などを主題とする作品について、油彩と水彩、素描など異なる技法によりながら構図を同じくするものや、制作時期などを考える上で重要な情報が新たに判明した。当館所蔵の油彩作品《海の見える庭》(所蔵番号 O-0097)と同構図の作例を水彩作品 1 例、油彩作品 1 例の 2 作品確認した(調査番号 029、036)。これら 3 作品ではいずれも、画面を上下に分割する形で空、海が広がり、その境界として陸地の稜線が描かれている。また、画面左下に破損した柵、中央に 4 つの突起を持つ黒いシルエット、半円状に浮かぶブイ、画面奥から手前に向かって広がる雲など、構成要素も一致する。このうち、特に水彩《昭南の思い出》(調査番号 036) 下部には年記を伴う仏文<sup>2</sup>があったことから、昭南(シンガポール)で描かれたものであることが分かる。

さらに、中村嘉彦氏より上記 3 作品に共通する画面中央の 4 つの突起をもつモチーフについて、日本軍侵攻により遺棄されたイギリス海軍の浮ドックではないかとの教示を受けた。1941 年 12 月から、日本軍は当時イギリス領であったマレーシア、次いでシンガポールに進攻し、1942 年 2 月にシンガポールが陥落、シンガポールは昭南島として日本の占領政策を受けるようになる。当時シンガポール港には、「キング・ジョージ 5 世」の名を冠するものをはじめとしたイギリス海軍の浮ドックがあり、日本軍の勢力下に置かれることになる「設備の完全を誇るドック」「世界一を誇る浮ドック」として、日本国内でも写真付きで新聞報道されていた<sup>3</sup>。

同年、中村は藤田嗣治らと共にシンガポール、インドシナなどに渡っている。《昭南の思い出》には 1942 年との年記があり、時期が一致する。3 作品がいずれも左下に破損した柵を描くことは、中村が、陥落から程ない時期のシンガポールを実際に目にしたことと関連があるのかもしれない。中央モチーフの「突起」は、報道写真などに確認できるドック上のクレーン、全体の細長い形状は、中央に船舶を入れる凹部を持つ浮ドックを横から捉えたシルエットに、それぞれ類似する。現状の情報では即断できないが、「浮ドック」は重要な示唆として、留意すべき点である。

また当館所蔵の油彩作品《足柄より(空母)》(O-0091)との関係性が推定できる水彩作品《スピットヘッドのカレイジャス》(調査番号 051)も確認できた。《足柄より》の名を冠する作品は当館に複数所蔵されており、いずれも 1937 年から 1938 年の間の作とされている。このうち《足柄より(空母)》(O-0091)には、中村のサインと共に、「4.NOV. 1938」という年記が認められる。《足柄より》はいずれも海上の風景を描き、モチーフの共通性から、シリーズとして位置づけられる<sup>4</sup>。このシリーズは中村が、1937 年に英国で行われた観艦式に参加した軍艦「足柄」に、囑託として乗船したことに際して描かれた<sup>5</sup>。この観艦式は英国新国王となったジョージ 6 世の戴冠式を祝うためのもので、5 月 20 日に行われた。《足柄より(空母)》には、海に浮かぶ艦船や背景に岬の稜線が描かれているが、これまで描かれた「空母」や場所に関しては、詳細が明らかになっていなかった。

今回の調査で確認できた個人蔵の作品には、船首と艦中央部の甲板に段差のある、多段式飛行甲板と 1 本煙突を持った艦船が描かれている。《足柄より(空母)》には、同じく 1 本煙突を持つ艦船が描かれており、横長で、先端部に段差のある甲板や寸胴な煙突など、シルエットのアウトラインは、水彩作品と似通っている。一方で、両作品では煙突と段差の位置関係は一致しない。また、《足柄より(空母)》では、水平線との境界に、岬の稜線があるのに対して、水彩作品では、洋上の艦船の向こうには水平線が広がっており相違する。

水彩作品の画面下部には、「Courgeous at Spithead. Le 22 mai 1937」とある。英国の観艦式は、ポーツマス軍港沖の錨地であるスピットヘッドにおいて行うことをならしていた。年記からは、1937 年の観艦式に際し、イングランド南部沖スピットヘッドにおいてイギリス海軍の空母「カレイジャス」を描いたものと読み取れる<sup>6</sup>。「Le 22 mai」、つまり 5 月 22 日は観艦式の 2 日後で、「足柄」のポーツマス出港日である。そのままに受け取るなら、本作は「足柄」乗船中の中村が目にした光景を、より直接的に反映していると言えるだろう。

《足柄より(空母)》は 1938 年との年記が画中にあり、両者の制作時期は近い。しかし、水彩画と異なり、《足柄より(空母)》は、帰国して「足柄」を降船してから制作されている<sup>7</sup>。水彩作品が直接的に《足柄より(空母)》に結び付いたかは、相違点もあることから早計に判断できないが、中村は現地で目にした「空母」を描き、それをふまえて、《足柄より(空母)》を描いたと言える。また、この《足柄より(空母)》という題名の「空母」は、観艦式の際に目にした「カレイジャス」を念頭にしたものではないか。なお、当館蔵《足柄より》シリーズの油彩作品《足柄より(戦艦レパルス)》(O-0095)にも、中村のサイン、「20<sup>th</sup> may 1937」との年記と共に、「Spithead」(スピットヘッド)という文字が認められる。



《足柄より》シリーズのうち、題材となった場所の判明しているものはこの他アデン2点(D-0153、O-0197)、マルタ島1点(O-0096)であった。これはいずれも「足柄」の寄港地である。中村は「足柄」の寄港地だけでなく、観艦式が行われたスピットヘッドにおいても、そこで目にした「レパルス」や「カレイジャス」、戦艦や空母を題材に制作を行ったことが、今回の調査を通じてあらためて確認できた。

1937年は、日独伊防共協定への参加という日本の外交史上分水嶺とも言うべき時期にあたる。日英同盟は1923年に失効していた。《足柄より》シリーズ、今回調査した水彩作品は、このような微妙な時期に中村が日本の軍艦から目にした、他国の軍事上の要衝と艦船、ことに距離のできつつあったイギリスのそれを描いている。

本シリーズが何らかの形で公開されたとすれば、どのようにまなざされたのだろうか<sup>8</sup>。また、《足柄より》シリーズに限らず、シンガポールの海を描いた先述の《海の見える庭》など、軍事的なモチーフと海という組み合わせは中村にとってどんな魅力を持っていたのか、明らかにする必要がある。

## 2：生活に接したモチーフを描いた作品の成立

軍艦や空母だけでなく他の主題においても、油彩による作品と、その下絵にあたると思われる素描との関係について、今回の調査を通じて多くの示唆を得ることができた。例えば当館所蔵の《室内》(1957年、O-0054)は片膝を立てて椅坐する女性をとらえた作品であるが、今回調査した個人蔵の素描作品(調査番号017《室内》)にも同様のポーズをとる女性が描かれている。ただし目線の角度など、素描と油彩では異なる点もある。今回の調査では上述の《室内》を含む2例の下絵素描<sup>9</sup>、また、逆に、当館所蔵の素描2点(D-0218《少憩》、D-0387《小憩》)と構図を同じくする油彩作品1点(調査番号064《裸婦》生家美術館寄託作品)を確認できた。中村の油彩画制作において下絵がどのようなものとして捉えられていたのか、また構図推敲などの制作過程の把握を可能にする情報を得ることができた。下絵素描と完成作品とを比較することで、制作過程における変更箇所などを分析し、中村が表現において重んじたことを理解する、手がかりとすることが期待できる。

さらに今回は花を主題とする作品について計21点の調査を行う事ができ、晩年に向かって、青とピンクを中心にしたより明るい色彩を多用するようになる傾向を確認した。当館の所蔵作品には、1945年末の小金井移住から没年までの間に制作されたと推定されるものの、それ以外の情報に乏しいものがある。今後これらの作品のより具体的な制作時期を検討するために、中村の作風が小金井居住後どのような変遷をたどったのかを把握し、判断材料として活かしたい。

また、現在「美術の森」緑地として管理されている旧中村研一郎とその庭を描いた作品は複数存在するが、それ以外で小金井周辺を描いている作品は確認されていなかった。しかし今回、春景と思われる風景画を調査し(調査番号004、作品名不明)、所蔵者より「小金井の風景であるらしい」とのコメントを得た。この作品について、本調査終了後中村富子氏に確認した所、制作時期については1946年から47年にかけての、移住してほどなくの頃と記憶している旨と、描かれた場所は小金井市内を流れる野川<sup>10</sup>であるとの指摘を受けた。野川の景であることの客観的な裏付けや、具体的に小金井市内における野川周辺のどの地域なのかは、制作年代を併せて検討していく必要があるが、小金井移住後の創作活動を考える上で重要な情報である。

## 【5】今後の課題

今回の調査では、予想以上に多くの作品を実見することができた。しかし、一方で、福岡県内の諸機関、個人が所蔵する中村作品の全てを把握し、調査を行った訳ではない。例えば今回油彩作品を中心に調査した生家美術館のコレクションには、それ以外にも素描作品や手紙、スケッチブックなどの資料類が含まれている。中村の創作活動を包括的に把握するためには、生家美術館の協力を得たうえで、これらの内容についても確認することが必要であろう。また、福岡市美術館では今回6点の油彩作品を調査したが、この他にも24点の油彩、さらに122点にのぼる水彩や素描作品を所蔵している。

今後も、当館以外の所蔵になる中村作品について情報を収集し、今回の調査を端緒とした中村作品の悉皆調査を実現していきたい。

1 本調査報告は、大野玲による、調査終了時の報告書に基づく。調査実施以降に判明した事項の追加および更新は、中村ひのが行った。

2 文頭がやや不明瞭であるが、確認できる限りでは、「souvenir de shōnan. K.nakamura.1942」とある。

3 前者は『大阪毎日新聞』1942年1月14日「孤島・シンガポール」、後者は『東京朝日新聞』1942年1月24日から2月1日にかけて掲載された「シンガポール座談会」の掲載写真に付された表現である。なお、これらの記事の確認にあたっては、神戸大学附属図書館「新聞記事文庫」デジタル版（URL：<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/index.html>）を利用した。

4 当館が所蔵する《足柄より》の名を附された作品は7点あり、油彩作品6、水彩作品1（油彩画《足柄より（空母）》O-0091、《足柄より》O-0092、《足柄より》O-0093、《足柄より（戦艦）》O-0095、《足柄より》O-0096、《足柄より（アデン）》O-0197、水彩画《アデン（足柄より）》D-0153）である。ただし、これら作品名に関しては中村研一自身による命名によるものか、判然としない。そのため、最初から連作として意図されていた訳ではない可能性もある。

5 川井裕「研究ノート 軍艦「足柄」の英国観艦式派遣及びドイツ訪問について」『戦史研究年報』第12号、2009年によれば、「足柄」に乗り込んだ便乗者は士官室士官待遇として学者藤澤親雄、洋画家中村研一、記者皆藤幸蔵、漫談家徳川夢声（福原駿雄）、准士官として撮影技師（カメラマン）白井茂、江見澤喜三郎であった。川井氏は、これらの便乗者の選考にあたっては、「その人物の人柄、将来性及び海軍に対する理解、貢献度」などが考慮されたいことを指摘している。

6 「Courageous」は「Courageous」（カレイジャス）の誤記とみられる。

7 「足柄」が帰国・佐世保に入港したのは1937年の7月8日である。

8 後年徳川夢声は「足柄」に便乗するという話をもちかけてきたのは、後の帝国劇場社長であり、当時宝塚劇場に勤めていた秦豊吉だったと述べている（『いろは交友録』ネット武蔵野2003年。初刊は鱗書房1953年）。中村研一の「足柄」乗船についても、海軍との間に仲介者がいた可能性がある。一方で、中村研一夫人である中村富子は、『中村研一記念美術館 開館15周年記念誌』（財団法人中村研一記念美術館2003年）において、「昭和12年、エリザベス女王のお父様（ジョージ6世）の戴冠式の取材（朝日新聞社の主催）で、研一は軍艦「足柄」に乗ってイギリスに出かけました。」と述べており、「足柄」乗船の目的が「朝日新聞のための戴冠式の取材」であったとの認識を持っている。中村研一を含め、軍属ではない「民間」の人間はいずれも海軍から囑託の扱いを受けて「海軍軍事普及事務」にあたることとされていた。

なお、中村研一は帰国後1937年6月に発足した海洋美術会の幹事に就任しており、同会結成の契機となった5月開催の第1回海洋美術展に題名不明であるが、出品している。翌年の第2回展には《観艦式の前日》という作品を出品しており、「足柄」の乗船経験に基づく作品であることが題名から推察される。参照：東京文化財研究所美術部編『昭和期美術展覧会出品目録 戦前篇』中央公論美術出版2006年

9 本文中で指摘したものは別作品となる《裸婦》（1951）の下絵にあたると思われる素描（《裸婦》、調査番号013）を確認した。椅子の上で、手を伸ばし、頭上で組む裸婦を描いている点は油彩と素描で共通する。一方素描ではソファのような椅子であるのに対し、油彩では藤椅子のようなものに腰かけている。

10 野川は国分寺市内を水源とし、小金井市、三鷹市、調布市、狛江市等流れ、世田谷区で多摩川に合流する多摩川支流の一級河川である。国分寺崖線沿いを流れ、とくに小金井市内の野川周辺地域は、当館の館名にも冠する「はげ」と呼ばれている。

11 『福岡市美術館所蔵品目録 近現代美術』（福岡市美術館1992年）に基づく。

#### 附記

本調査の実施にあたっては、中村研一・琢二生家美術館ほか各機関、作品所蔵者各位より、格別のご配慮を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

[ 調査作品リスト ]

調査番号	調査日	所蔵先	作品名	制作年	技法・材質	備考
001	2008/12/16	タワー不動産株式会社	婦人像	1922年	油彩・キャンバス	
002	2008/12/16	タワー不動産株式会社	裸婦	1935年	油彩・キャンバス	
003	2008/12/16	タワー不動産株式会社	南京下関江上船隊	1937年	油彩・キャンバス	
004	2008/12/16	タワー不動産株式会社	不明	不明(1946～47年)	油彩・キャンバス	小金井・野川の景との中村富子氏の指環あり
005	2008/12/16	タワー不動産株式会社	白い花	不明(1954年以前)	油彩・キャンバス	第40回光風会(1954年)出品
006	2008/12/16	タワー不動産株式会社	ラ・フランス	1955年	油彩・キャンバス	
007	2008/12/16	タワー不動産株式会社	パンセ	1960年	油彩・キャンバス	
008	2008/12/16	タワー不動産株式会社	不明	不明	油彩・キャンバス	秋海棠を描く
009	2008/12/16	タワー不動産株式会社	赤い首飾り	不明	油彩・キャンバス	
010	2008/12/16	タワー不動産株式会社	不明(バラ)	不明	油彩・キャンバス	
011	2008/12/16	タワー不動産株式会社	不明(バラ)	不明	油彩・キャンバス	
012	2008/12/16	タワー不動産株式会社	開封新民公園	不明	淡彩・紙	同題の当館所蔵作品あり
013	2008/12/16	タワー不動産株式会社	裸婦	1951年	墨・紙	
014	2008/12/16	タワー不動産株式会社	女の一生(挿絵)	不明	墨・紙	『女の一生』(山本有三著)のための挿絵
015	2008/12/16	タワー不動産株式会社	日本松	不明	墨・紙	
016	2008/12/16	タワー不動産株式会社	長門	不明	墨・絹	戦艦「長門」図
017	2008/12/16	タワー不動産株式会社	室内(素描)	1957年	コンテ・紙	
018	2008/12/16	福岡県立美術館	サイゴンの夢	1947年	油彩・キャンバス	第3回日展出品
019	2008/12/16	福岡県立美術館	裸婦	1952年	油彩・キャンバス	
020	2008/12/16	宗像市(宗像市南郷小学校)	錦旗	1931年	油彩・キャンバス	艦船図
021	2008/12/17	福岡市美術館	残れる花	1921年	油彩・キャンバス	
022	2008/12/17	福岡市美術館	師久永機四郎像	1931年	油彩・キャンバス	
023	2008/12/17	福岡市美術館	栗の花	1947～48年	油彩・キャンバス	静物画・中村富子氏寄贈
024	2008/12/17	福岡市美術館	坐像	1948年	油彩・キャンバス	第3回美術団体連合展出品との記裏面にあり
025	2008/12/17	福岡市美術館	静物	1955年	油彩・キャンバス	第41回光風会(1955)出品、中村富子氏寄贈
026	2008/12/17	福岡市美術館	裸体	1957年	油彩・キャンバス	第4回日本国際美術展出品との記裏面にあり
027	2008/12/17	個人蔵	不明(裸婦)	不明	油彩・キャンバス	調査時の所蔵者は翰林画廊
028	2008/12/18	個人蔵	半裸習作	1930年	油彩・キャンバス	制作年は「中村研一遺作展」カタログ(福岡県文化会館1972)の「中村研一作品目録」に基づく
029	2008/12/18	個人蔵	昭南	1943年	油彩・キャンバス	皇紀による年記表記を伴う
030	2008/12/18	個人蔵	静物	1959年以前	油彩・キャンバス	第45回光風会(1959)出品
031	2008/12/18	個人蔵	大津の朝	1966年	油彩・キャンバス	
032	2008/12/18	個人蔵	不明(バラ)	不明(1962年)	油彩・キャンバス	
033	2008/12/18	個人蔵	風景	不明	油彩・キャンバス	
034	2008/12/18	個人蔵	不明(裸婦)	不明	油彩・キャンバス	
035	2008/12/18	個人蔵	つばき	不明	油彩・支持体不明	
036	2008/12/18	個人蔵	昭南の思い出	1942年	水彩・紙	
037	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	資料 祖母トミ宛 結婚報告	1929年	墨・紙	資料(手紙)
038	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	祖母トミの肖像	1931年	油彩・キャンバス	
039	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	花	不明	油彩・キャンバス	
040	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	不明	不明	油彩・キャンバス	花を描いた静物画
041	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	安茂里村(長野県)	不明	油彩・キャンバス	
042	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	静物(リンゴ)	不明	油彩・キャンバス	
043	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	静物(桃)	不明	油彩・キャンバス	
044	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	秋の花	不明	油彩・キャンバス	
045	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	ばら	1960年代	油彩・板	
046	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	花	不明	油彩・キャンバス	裏面に中村富子氏自筆極書
047	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	花	不明	油彩・キャンバス	
048	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	早春	1962年	油彩・板	自筆墨書、年記裏面にあり
049	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	チューリップ	不明	水彩・紙	
050	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	不明	不明	水彩・紙	洋上の艦船を描く、艦名等不明
051	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	スピットヘッドのカレイジャス	1937年	水彩・紙	
052	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	津屋崎海岸	1905年	水彩・紙	
053	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	不明	不明	淡彩・紙	海、街並みなどを描く風景画、地名等不明
054	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	不明(兵士)	不明	鉛筆・紙	
055	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	女の一生(挿絵)	1932年	墨・紙	挿絵10点、『女の一生』(山本有三著)のための挿絵
056	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	花籠	1930年	油彩・キャンバス	静物画
057	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	野鴨	不明(1949年以前)	油彩・キャンバス	1949年に「津山公民館展覧会」に出品した旨の墨書裏面にあり
058	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	静物(梨)	1963年	油彩・板	裏面に自筆墨書
059	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	裸婦	1966年	油彩・キャンバス	
060	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	裸婦	不明	油彩・キャンバス	
061	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	裸婦	不明	油彩・キャンバス	裸婦像
062	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	風景(瀬戸内海)	不明	油彩・キャンバス	
063	2008/12/19	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	蘭花	不明	油彩・キャンバス	
064	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	裸婦	1960年	油彩・キャンバス	第31回現代洋画展出品作との記裏面にあり
065	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	花	不明	油彩・キャンバス	
066	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	不明	不明	油彩・キャンバス	花を描いた静物画
067	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	新春(皇居前)	1934年	墨・紙	
068	2008/12/18	中村研一・琢二生家美術館寄託作品	山本彦次郎氏肖像	1915-16年頃	油彩・板	

## 2) 5年間の出張の一覧

小金井市立はげの森美術館では、開館当初より、必要に応じて館外での調査を行ってきた。平成20年度からは調査・研究に対する予算が独立した項目として明文化されたため、企画展開催に向けての事前調査などが館の調査活動の一環として可能になった。

	年度	日付	出張者名	出張先名称	場所	業務内容
1	平成20年度	7/17	大野 玲、 神津瑛子	松本市美術館	長野県松本市	「松本市美術館 田村一男記念室より 冬の彼方に～高原の画家・田村一男の世界～」開催にあたっての調査・打合せ等
2	平成20年度	12/16～12/19	大野 玲	福岡市美術館、 中村研一・琢二生家美術館他	福岡県福岡市、 福岡県宗像市他	在福岡県中村研一作品の調査
3	平成21年度	4/19～4/20	神津瑛子	下関市田中絹代メモリアル 協会	山口県下関市	企画展「田中絹代～シネマに恋して～」(仮称)開催にあたっての事前調査、打合せ等
4	平成21年度	6/24	大野 玲	浜松市美術館	静岡県浜松市	企画展「浜松市美術館蔵 ガラス絵」(仮称)開催にあたっての事前調査
5	平成21年度	3/17	神津瑛子	新潟市新津美術館	新潟県新潟市	平成22年度企画展「新津美術館より 笹岡一展」(仮称)開催にあたっての事前調査
6※	平成22年度	4/8～4/9	大野 玲	宗像ユリックス市民ギャラリー	福岡県宗像市	宗像ユリックス市民ギャラリーオープニングイベント「中村研一記念小金井市立はげの森美術館展」における当館所蔵作品の展示作業立会
7	平成22年度	5/11～5/12	神津瑛子	新潟市新津美術館	新潟県新潟市	平成22年度企画展「新津美術館より 笹岡一展」(仮称)開催にあたっての事前調査
8	平成22年度	7/12～7/13	神津瑛子	一宮市三岸節子記念美術館他	愛知県一宮市他	平成23年度企画展Ⅱ開催に係る事前調査
9	平成22年度	3/29～3/30	荒木 和	金沢市内、小松市内	石川県金沢市、 小松市	企画展立案および中村研一作品についての調査

※6については当館による調査・出張ではないが、参考のため記載する。

### 3) 文化遺産オンライン掲載について

#### 1. 文化遺産オンラインについて

文化遺産オンラインとは、「歴史的な価値を有する文化的所産」を、有形無形問わず「文化遺産」ととらえ、それらについての情報を積極的に公開することを目的としたインターネット上のポータルサイトである。文化庁によって平成 16 年より試験的運用・公開が成されており、平成 20 年に正式公開された。日本全国の博物館・美術館のうち、登録を行っている館が所蔵作品に関する情報を提供することで、それらを含め、文化遺産に関する様々な情報をデータベースとして検索できるようになっている。

はけの森美術館では平成 22 年度に文化庁より「全国の博物館・美術館等における収蔵品デジタル・アーカイブ化に関する調査・研究事業」の業務委託を受け、文化遺産オンラインへの参加のための、所蔵作品情報のデジタル化、及び文化遺産オンライン公開のデータベースへの情報登録作業を行った（当該業務に関しては平成 23 年 3 月 15 日をもって完了）。

#### 2. 作業内容

所蔵作品データのデジタル化と整備、公開作品の選定等の準備作業を経て、準備されたデジタルデータを、文化財情報一括入出力ツールを用いて文化遺産オンラインに登録した。

#### 3. 登録件数

平成 23 年 4 月 1 日現在、小金井市立はけの森美術館所蔵作品のデータベース登録数は全 114 点であり、油彩画、陶芸作品などの画像が確認できる。

また、「全国の美術館・博物館」のトピックスページから当館に関する詳細情報を確認できる。

#### 4. 事業を終えて

文化遺産オンラインへの情報掲載によって、一般に対する当館の周知、中村研一について興味を持つ人に対する情報提供の利便性が向上することが期待される。また、今回の事業を通じ、ウェブでの公開のために所蔵作品のテキストおよび画像データを整備できただけでなく、所蔵作品全体のデータの状況を把握・修正し、未撮影の作品やテキストデータの不備を明らかにすることもできた。

#### 5. 文化遺産オンライン URL

<http://bunka.nii.ac.jp/>

## 8. 管理運営

### 1) 日誌

平成 18 年度（2006 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日）

4 月 1 日（土）	小金井市立はげの森美術館開館セレモニー、「開館記念所蔵作品展Ⅰ」開始、無料開館日 小柳清館長着任
4 月 2 日（日）	無料開館日
7 月 4 日（火）	「市内作家展」実行委員会設置会議開催
7 月 2 日（日）	「開館記念所蔵作品展Ⅰ」終了
7 月 3 日（月）	臨時休館（～7 月 10 日）
7 月 11 日（火）	「開館記念所蔵作品展Ⅱ」開始
7 月 25 日（火）	平成 18 年度第 1 回運営協議会開催
8 月 29 日（火）	子ども向けギャラリートーク「夏休みキッズ・トーク」実施
9 月 2 日（土）	子どもワークショップ「アートって何？」第 1 回「音に向かうこと・出会うこと～自然素材とエレクトロニクスで遊ぶ～」開催 講師：多田正美（フォトサウンドアーティスト）
9 月 6 日（木）	平成 18 年度第 2 回運営協議会開催
9 月 9 日（土）	子どもワークショップ「アートって何？」第 2 回「じぶんがいた場所～いつも歩く道、ひみつ基地、自分のテリトリーにじぶんの『あと』を残そう～」開催 講師：吉澤美香（画家）
9 月 16 日（土）	子どもワークショップ「アートって何？」第 3 回「10 年後のわたし～君がぼくを写す。わたしが君を写す。そこに 10 年後のわたしたちがいる。10 年後のその時に、ひとりひとりが君たちに伝える言葉を捜す～」開催 講師：松下誠子（画家）
9 月 24 日（日）	「開館記念所蔵作品展Ⅱ」終了
9 月 25 日（月）	臨時休館（～10 月 6 日）
9 月 30 日（土）	子どもワークショップ「アートって何？」第 4 回「大きな写真～巨大化した写真から何がみえる？～」開催 講師：柴田敏雄（写真家）
10 月 3 日（火）	平成 18 年度第 3 回運営協議会開催
10 月 6 日（金）	企画展「中村研一回顧展」レセプション・内覧会
10 月 7 日（土）	企画展「中村研一回顧展」開始、オープニングセレモニー
11 月 26 日（日）	企画展「中村研一回顧展」終了
11 月 27 日（月）	臨時休館（～12 月 7 日）
12 月 8 日（金）	企画展「アートって何？展」開始
12 月 10 日（日）	企画展「アートって何？展」終了
12 月 11 日（月）	臨時休館（～12 月 15 日）
12 月 15 日（金）	企画展「Art-Full アート湧くはげの森」レセプション・内覧会
12 月 16 日（土）	企画展「Art-Full アート湧くはげの森」開始
12 月 23 日（土）	「学芸員と学生スタッフによるギャラリートーク」開催（2 月 12 日までに 4 回実施）
1 月 16 日（火）	市内小学校鑑賞教室開催（2 月 12 日までに 6 回実施）
1 月 20 日（土）	イベント「サウンド・エンカウンター」講師：多田正美（フォトサウンドアーティスト）
2 月 9 日（金）	平成 18 年度第 1 回収集評価委員会開催
2 月 12 日（月）	企画展「Art-Full アート湧くはげの森」終了
2 月 13 日（火）	臨時休館（～3 月 19 日）
3 月 19 日（月）	平成 18 年度第 4 回運営協議会開催
3 月 20 日（火）	「2007 年所蔵作品展～特集 中村研一と花々～」開始
3 月 24 日（土）	講演会・ワークショップ「美術館で花を描く！ 第 1 部人はなぜ花を描くのか／第 2 部①研一さんに弟子入り！ 模写コース／②研一さんに挑戦！ライブルコース」開催 講師：河村正之（東京学芸大学教授）
3 月 30 日（金）	平成 18 年度第 2 回収集評価委員会開催

平成 19 年度（2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日）

6 月 10 日（日）	所蔵作品展「2007 年所蔵作品展～特集 中村研一と花々～」終了
6 月 11 日（月）	臨時休館（～6 月 25 日）
6 月 26 日（火）	所蔵作品展「2007 年所蔵作品展Ⅱ～特集 中村研一の見た風景～」開始
6 月 29 日（金）	平成 19 年度第 1 回運営協議会開催
8 月 4 日（土）	夏休みプログラム「窓から見た風景～風景画を描こう〈1 日コース〉」開催
8 月 23 日（木）	夏休みプログラム「窓から見た風景～風景画を描こう！～〈半日コース〉」（2 回）開催
9 月 30 日（日）	「2007 年所蔵作品展Ⅱ～特集 中村研一の見た風景～」終了
10 月 1 日（月）	臨時休館（～10 月 22 日）
10 月 23 日（火）	企画展「京都府立堂本印象美術館展」開始
11 月 1 日（日）	シンポジウム「小さな美術館からの声～市民とともに歩む今とこれから～」開催 パネリスト：薩摩雅登（東京藝術大学大学美術館教授、小金井市立はげの森美術館学芸顧問）、守安美栄（世田谷美術館学芸員）、村山万介（台東区立朝倉彫塑館学芸員）ゲスト：田中淳（東京文化財研究所美術部黒田記念近代現代美術研究室室長）、コーディネーター：鈴木廣之（東京学芸大学教授）
11 月 20 日（金）	平成 19 年度第 1 回収集評価委員会開催
11 月 29 日（木）	平成 19 年度第 2 回運営協議会開催
12 月 5 日（水）	小金井市教育研究会 図画工作研究会研究授業「絵から始まるストーリー～中村研一作品の鑑賞から～」開催 指導者：横田佳世（学芸員）、高橋史樹（小金井市立緑小学校図画工作専科教諭）
12 月 9 日（日）	企画展「京都府立堂本印象美術館展」終了
12 月 10 日（月）	臨時休館（～1 月 11 日）
1 月 12 日（火）	企画展「Art- Full2 CIRCULATION 天から地から」開始、オープニングセレモニー
1 月 26 日（火）	パフォーマンス「サウンド・エンカウンター」開催 講師：多田正美（フォトサウンドアーティスト）
1 月 29 日（火）	市内小学校鑑賞教室開催（3 月 12 日までに 17 回実施）
2 月 1 日（金）	小金井市教育委員会 図画工作研究会 公開授業「企画展『Art- Full2 CIRCULATION 天から地から 多田正美×柴田敏雄』鑑賞教室」開催
2 月 2 日（土）	ワークショップ「大きな写真～巨大化した写真から何が見える？」開催 講師：柴田敏雄（写真家）、「作家によるギャラリートーク」開催 講師：多田正美（フォトサウンドアーティスト）
2 月 9 日（土）	「学芸員によるギャラリートーク」開催（3 月 16 日までに 2 回実施）
3 月 12 日（水）	企画展「Art- Full2 CIRCULATION 天から地から」終了
3 月 14 日（金）	企画展「『Art- Full2』+子どもたち展」開始
3 月 15 日（土）	公開ワークショップ「音と宇宙 / 音あそび / 音を作る（自然とエレクトロニクスを通して）」開催 講師：多田正美（フォトサウンドアーティスト）
3 月 16 日（日）	企画展「『Art- Full2』+子どもたち展」終了
3 月 17 日（月）	臨時休館（～3 月 28 日）
3 月 28 日（金）	平成 19 年度第 3 回運営協議会開催
3 月 29 日（土）	所蔵作品展「2008 年所蔵作品展Ⅰ 館藏品にみる 中村研一、人と芸術」開始、オープニングセレモニー

平成 20 年度（2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日）

5 月 18 日（日）	「ギャラリートーク」開催（会期中 10 回実施）
5 月 24 日（土）	「ミュージアムツアー この人だぁ～れ？」開催
5 月 25 日（日）	「ミュージアムツアー この人だぁ～れ？」開催
6 月 1 日（日）	所蔵作品展「2008 年所蔵作品展Ⅰ 館藏品にみる 中村研一、人と芸術」終了
6 月 2 日（月）	臨時休館、館内空調設備工事実施（～6 月 30 日）
7 月 1 日（火）	所蔵作品展「2008 年所蔵作品展Ⅱ 中村研一、画家のまなざし」開始
7 月 5 日（土）	「ギャラリートーク」開催（10 月 5 日までに 12 回実施）
7 月 8 日（火）	平成 20 年度第 1 回運営協議会開催
7 月 20 日（日）	「ミュージアムツアー」開催（10 月 5 日までに 7 回実施）
8 月 1 日（金）	市制 50 周年記念企画「美術館で模写！」開催（10 月 5 日までに 5 回実施）
8 月 3 日（日）	ワークショップ「“けんぼしゃん”とあそぼう！～コラージュでアートを楽しむ～」開催
9 月 6 日（土）	講座「画家の交流～中村研一の書簡を読む～」開催
10 月 4 日（土）	小金井市制 50 周年を記念した特別無料開館日
10 月 5 日（日）	小金井市制 50 周年を記念した特別無料開館日、「2008 年所蔵作品展Ⅱ 中村研一、画家のまなざし」終了
10 月 6 日（月）	臨時休館（～10 月 20 日）
10 月 21 日（火）	企画展「松本市美術館 田村一男記念室より 冬の彼方に～高原の画家・田村一男の世界～」開始、オープニングセレモニー
11 月 2 日（日）	「ミュージアムツアー」開催（6 回実施）
11 月 3 日（月）	市民参加ワークショップ「アートエコバッグをつくろう！—江戸東京野菜でお絵かき—」〈全 4 回〉講師：西村和弘（有限会社エニシング取締役社長）
11 月 8 日（土）	イベント「スペシャルナイト！直弟子金山圭子さんが語る 田村一男と信州・冬」開催 講師：金山圭子（女子美大学名誉教授）
11 月 15 日（土）	「スペシャルゲストトーク」〈全 2 回〉開催 講師：武藤美紀（松本市美術館学芸員）
11 月 16 日（木）	「ギャラリートーク」開催（12 月 7 日までに 2 回実施）
12 月 5 日（金）	平成 20 年度第 2 回運営協議会開催
12 月 7 日（日）	企画展「松本市美術館 田村一男記念室より 冬の彼方に～高原の画家・田村一男の世界～」終了
12 月 8 日（月）	臨時休館（～1 月 5 日）
1 月 6 日（火）	所蔵作品展「2009 年所蔵作品展Ⅰ 中村研一、一枚のラ・ヴィ（生命）」開始
1 月 17 日（土）	「ギャラリートーク」開催（3 月 8 日までに 5 回実施）
1 月 11 日（日）	「ミュージアムツアー」開催（3 月 8 日までに 6 回実施）
2 月 4 日（水）	小金井市立緑中学校職場体験学習（～2 月 5 日）
2 月 11 日（水）	ワークショップ「“けんぼしゃん”とあそぼう！～コラージュでアートを楽しむ～」開催
2 月 21 日（土）	講座「画家の交流～中村研一の書簡を読む～」開催
3 月 8 日（日）	所蔵作品展「2009 年所蔵作品展Ⅰ 中村研一、一枚のラ・ヴィ（生命）」終了
3 月 9 日（月）	臨時休館（～3 月 23 日）
3 月 19 日（木）	平成 20 年度第 3 回運営協議会開催
3 月 24 日（火）	所蔵作品展「2009 年所蔵作品展Ⅱ 中村研一 春の特集～花～」開始
3 月 29 日（月）	「ギャラリートーク」開催（会期中 5 回実施）
3 月 31 日（水）	小柳清館長退任



平成 21 年度（2009 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日）

4 月 1 日（水）	鈴木茂哉館長着任
4 月 12 日（日）	講座「寺子屋・はけ美 “小さな美術館からの声”Part2」開催
4 月 29 日（水）	ワークショップ「“けんぼしちゃん”とあそぼう！～コラージュでアートを楽しむ～」開催
5 月 10 日（日）	ワークショップ「“けんぼしちゃん”に挑戦！～花を描く～」開催 講師：大野靖（美術家）
5 月 23 日（土）	ワークショップ「きらきら☆えんげきあそび～美術館でワークショップ～」事前説明会 講師：酒井孝弘（劇団徒紀の奏代表）
5 月 28 日（木）	平成 21 年度第 1 回運営協議会開催
5 月 31 日（日）	所蔵作品展「2009 年所蔵作品展Ⅱ 中村研一 春の特集～花」終了
6 月 1 日（月）	臨時休館（～7 月 10 日）
6 月 6 日（土）	ワークショップ「きらきら☆えんげきあそび～美術館で演劇ワークショップ～」開催 講師：酒井孝弘（劇団徒紀の奏代表）
6 月 13 日（土）	ワークショップ「きらきら☆えんげきあそび～美術館で演劇ワークショップ～」開催 講師：酒井孝弘（劇団徒紀の奏代表）、立正大学博物館実習実地授業受入
6 月 20 日（土）	ワークショップ「きらきら☆えんげきあそび～美術館で演劇ワークショップ～」開催 講師：酒井孝弘（劇団徒紀の奏代表）
6 月 27 日（土）	ワークショップ「きらきら☆えんげきあそび～美術館で演劇ワークショップ～」開催 講師：酒井孝弘（劇団徒紀の奏代表）
7 月 10 日（金）	企画展「田中絹代生誕百周年記念 田中絹代～シネマに恋して～」レセプション・内覧会
7 月 11 日（土）	企画展「田中絹代生誕百周年記念 田中絹代～シネマに恋して～」開始、「絹代に恋して！スペシャルトーク」〈全 2 回〉開催 講師：阿波茅子（NPO 法人田中絹代メモリアル協会事務局長）
7 月 25 日（土）	映画上映会「はけ美でシネ恋ナイト①『マダムと女房』（松竹映画）」開催
8 月 1 日（土）	ワークショップ「スター☆なりきり朗読会～絹代映画の台本を味わう～」講師：酒井孝弘（劇団徒紀の奏代表）
8 月 5 日（水）	散策会「武蔵野遠足～『武蔵野夫人』と歩く～」開催 講師：多田哲（小金井市文化財センター学芸員）
8 月 8 日（土）	映画上映会「はけ美でシネ恋ナイト②『武蔵野夫人』（東宝映画）」開催
8 月 15 日（土）	「特別講演 富永一矢氏をお招きして」開催 講師：富永一矢（東京学芸大学客員教授）
8 月 16 日（日）	企画展「田中絹代生誕百周年記念 田中絹代～シネマに恋して～」終了
8 月 17 日（月）	臨時休館（～9 月 11 日）
9 月 11 日（金）	小金井市教育研究会 図工研究部会特別講演「小学生のガラス絵制作～方法と実践」開催 講師：吉川利行（浜松市美術館指導主事）
9 月 12 日（土）	所蔵作品展「2009 年度所蔵作品展Ⅲ 中村研一 アトリエおもちゃ箱」開始、「ギャラリートーク」開催（会期中 8 回実施）
10 月 1 日（木）	小金井市制施行を記念した無料開館日
10 月 18 日（日）	中村研一夫人・中村富子氏死去（享年 103 歳）
10 月 31 日（日）	所蔵作品展「2009 年所蔵作品展Ⅲ 中村研一 アトリエおもちゃ箱」終了
11 月 1 日（月）	臨時休館（～11 月 13 日）
11 月 13 日（金）	企画展「ガラス絵～浜松市美術館の名品～」レセプション・内覧会
11 月 14 日（土）	企画展「ガラス絵～浜松市美術館の名品～」開始、小金井市立東小学校へ出張授業
12 月 1 日（火）	小金井市内小学校鑑賞教室開催（1 月 29 日までに 25 回実施）、小金井市立緑中学校職場体験学習（～12 月 3 日）
12 月 6 日（日）	特別ワークショップ「ガラス絵をみる！描く！」〈全 2 回〉開催 講師：吉川利行（浜松市美術館指導主事）
12 月 20 日（日）	ワークショップ「ガラス絵に挑戦」〈全 2 回〉開催
12 月 25 日（金）	平成 21 年度第 1 回収集評価委員会開催
1 月 9 日（土）	「ギャラリートーク」開催（1 月 29 日までに 2 回実施）
1 月 24 日（日）	ワークショップ「ガラス絵に挑戦」〈全 2 回〉開催
1 月 29 日（金）	企画展「ガラス絵～浜松市美術館の名品～」終了、平成 21 年度第 2 回運営協議会開催
1 月 30 日（土）	臨時休館（～3 月 1 日）
2 月 28 日（日）	ワークショップ「響水（ひびきみず）～遙かなる水の音～」開催 講師：安達正芳（音楽家）
3 月 2 日（火）	所蔵作品展「2010 年度所蔵作品展Ⅰ 中村研一自然の歌」開始
3 月 6 日（土）	「ギャラリートーク」開催（5 月 30 日までに 18 回実施）
3 月 22 日（水）	ワークショップ「“けんぼしちゃん”とあそぼう！～コラージュでアートを楽しむ～」開催
3 月 30 日（火）	平成 21 年度第 3 回運営協議会開催

平成 22 年度（2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日）

5 月 15 日（土）	中村研一誕生日を記念した無料開館日
5 月 16 日（日）	中村研一誕生日を記念した無料開館日
5 月 26 日（水）	平成 22 年度第 1 回運営協議会開催
5 月 30 日（日）	所蔵作品展「2010 年度所蔵作品展Ⅰ 中村研一自然の歌」終了
5 月 31 日（月）	臨時休館（～7 月 16 日）
6 月 5 日（土）	立正大学博物館実習実地授業受入
6 月 20 日（日）	「ごくらくらごくワークショップ～美術館で落語を遊ぼう～」開催 講師：吉田恋生（落語パフォーマー）
7 月 17 日（土）	所蔵作品展「2010 年所蔵作品展 中村研一の人物画～特別展示 新収蔵品「シンガポールへの道」～」開始
7 月 18 日（日）	「ギャラリートーク」開催（10 月 3 日までに 10 回実施）
7 月 30 日（金）	平成 22 年度年度第 2 回運営協議会開催
7 月 31 日（土）	ワークショップ「“けんぼしゃん”とあそぼう！～コラージュでアートを楽しむ～」開催
9 月 15 日（水）	小金井市内小学校鑑賞教室開催（10 月 3 日までに 3 回実施）
9 月 23 日（木）	ワークショップ「“けんぼしゃん”とあそぼうスペシャル！～コラージュで万華鏡～」開催
10 月 1 日（金）	小金井市制施行を記念した無料開館日
10 月 3 日（日）	所蔵作品展「2010 年所蔵作品展 中村研一の人物画～特別展示 新収蔵品「シンガポールへの道」～」終了
10 月 4 日（月）	臨時休館（～11 月 8 日）
10 月 8 日（金）	平成 22 年度第 3 回運営協議会開催
10 月 26 日（火）	平成 22 年度第 1 回収集評価委員会開催
11 月 8 日（月）	企画展「新潟市新津美術館より 笹岡了一 抽象と具象の狭間で」レセプション・内覧会
11 月 9 日（火）	企画展「新潟市新津美術館より 笹岡了一 抽象と具象の狭間で」開始
11 月 14 日（日）	シンポジウム「画家のアトリエと美術館 アトリエ・住居の保存公開～佐藤秀三による建築を例に～」開催 内田青蔵（神奈川大学工学部建築学科教授）、村山万介（台東区立朝倉彫塑館研究員）、橋本善八（世田谷美術館学芸部美術課長）、薩摩雅登（東京藝術大学大学美術館教授）
11 月 23 日（火）	ワークショップ「絵とお話の旅～絵に物語をプレゼントしよう～」講師：志茂田景樹（作家、タレント、よい子に読み聞かせ隊・隊長）
11 月 25 日（木）	小金井市内小学校鑑賞教室開始（1 月 23 日までに 26 回実施）
12 月 12 日（日）	講演会「新潟の美術の DNA—象徴主義と土の記憶」講師：小林一吉（新潟市新津美術館学芸員）
1 月 23 日（日）	企画展「新潟市新津美術館より 笹岡了一 抽象と具象の狭間で」終了
1 月 24 日（月）	臨時休館（～3 月 5 日）
2 月 15 日（火）	馬目世母子氏（元中村研一記念美術館理事長秘書）のはげの森美術館への作品・資料寄贈に対する表彰式 小金井市立緑中学校職場体験学習（～2 月 17 日）
2 月 17 日（木）	平成 22 年度第 4 回運営協議会開催
2 月 19 日（土）	ワークショップ「バルーンの森で迷路あそび」講師：波多野典子（バルーンショップ経営）
3 月 4 日（金）	開館 5 周年記念特別展「中村研一展 制作の軌跡・日常の跡形」内覧会
3 月 5 日（土）	5 周年記念特別展イベント「集まれ！はげ美 5 周年宣伝部」開催
3 月 6 日（日）	開館 5 周年記念特別展「中村研一展 制作の軌跡・日常の跡形」開始
3 月 11 日（金）	東日本大震災発生、安全確認の為途中閉館
3 月 12 日（土）	安全確認の為臨時休館
3 月 17 日（木）	計画停電の為途中閉館
3 月 18 日（金）	計画停電の為途中閉館

2) 入館者数

平成 18 年度

開催期間	開催日数	展覧会名	入館者数
4月1日～7月2日	80日	開館記念所蔵作品展Ⅰ	2,312人
7月11日～9月24日	66日	開館記念所蔵作品展Ⅱ	711人
10月7日～11月26日	44日	中村研一回顧展	1,402人
12月8日～12月10日	3日	アートって何？	218人
12月16日～2月12日	46日	Art-Full アート湧くはけの森	1,164人
3月20日～3月31日 (平成18年度分)	11日	2007年所蔵作品展Ⅰ～特集 中村研一と花々～	267人
計			6,074人

平成 19 年度

開催期間	開催日数	展覧会名	入館者数
4月1日～6月10日 (平成19年度分)	61日	2007年所蔵作品展Ⅰ～特集 中村研一と花々～	2,097人
6月26日～9月30日	84日	2007年所蔵作品展Ⅱ～特集 中村研一の見た風景～	2,003人
10月23日～12月9日	42日	京都府立堂本印象美術館展	1,811人
1月12日～3月12日	52日	Art-FullⅡ CIRCULATION 天から地から	1,266人
3月14日～3月16日	3日	「Art-FullⅡ」+子どもたち展	116人
3月29日～3月31日 (平成19年度分)	2日	2008年所蔵作品展Ⅰ 館蔵品にみる中村研一、人と芸術	67人
計			7,360人

平成 20 年度

開催期間	開催日数	展覧会名	入館者数
4月1日～6月1日 (平成20年度分)	56日	2008年所蔵作品展Ⅰ 館蔵品にみる中村研一、人と芸術	1,263人
7月1日～10月5日	84日	2008年所蔵作品展Ⅱ 中村研一、画家のまなざし	1,877人
10月21日～12月7日	42日	2009年企画展 松本市美術館田村一男記念室より 冬の彼方に～高原の画家・田村一男の世界～	1,862人
1月6日～3月8日	49日	2009年所蔵作品展Ⅰ 中村研一、一枚のラ・ヴィ (生命)	901人
3月24日～3月31日 (平成20年度分)	7日	2009年所蔵作品展Ⅱ 中村研一 春の特集～花～	110人
計			6,013人

平成 21 年度

開催期間	開催日数	展覧会名	入館者数
4月1日～5月31日 (平成21年度分)	53日	2009年所蔵作品展Ⅱ 中村研一 春の特集～花～	1,279人
7月11日～8月16日	32日	田中絹代生誕百周年記念 田中絹代～シネマに恋して～	1,085人
9月12日～10月31日	49日	2009年所蔵作品展Ⅲ 中村研一 アトリエおもちゃ箱	1,315人
11月14日～1月29日	60日	ガラス絵 ～浜松市美術館の名品～	2,763人
3月2日～3月31日 (平成21年度分)	26日	2010年所蔵作品展Ⅰ 中村研一 自然の歌	573人
計			7,015人

平成 22 年度

開催期間	開催日数	展覧会名	入館者数
4月1日～5月30日 (平成22年度分)	51日	2010年所蔵作品展Ⅰ 中村研一 自然の歌	1,361人
7月17日～10月3日	68日	2010年所蔵作品展Ⅱ 中村研一の人物画 ～特別展示 新収蔵品「シンガポールへの道」～	1,403人
11月9日～1月23日	61日	新潟市新津美術館より 笹岡了一 抽象と具象の狭間で	2,069人
3月6日～3月31日 (平成22年度分)	22日	開館5周年記念特別展 「中村研一展 制作の軌跡・日常の跡形」	227人
計			5,060人

3) 予算一覧

平成 18 年度

歳入	金額 (円)	歳出	金額 (円)
観覧料	1,508,400	報酬	5,486,148
図録等売払収入	219,850	賃金	2,064,650
雑入	1,014,189	報償費	3,087,700
		需用費	7,227,371
		役務費	1,965,747
		委託料	5,216,820
		使用料及び賃借料	1,740,669
計	2,742,439	計	26,789,105

平成 19 年度

歳入	金額 (円)	歳出	金額 (円)
観覧料	1,818,600	報酬	6,236,994
図録等売払収入	431,050	賃金	2,159,000
雑入	1,163,064	報償費	2,338,000
東京都市長会多摩・島しょ子ども体験 塾市町村助成金（子どもワークショップ アートって何？）	3,516,000	需用費	5,317,375
芸術文化振興基金助成金	1,700,000	役務費	2,016,509
		委託料	4,586,032
		使用料及び賃借料	2,724,920
計	8,628,714	計	25,378,830

平成 20 年度

歳入	金額 (円)	歳出	金額 (円)
観覧料	1,234,400	報酬	5,188,310
図録等売払収入	391,660	賃金	1,863,200
雑入	1,069,215	報償費	1,960,800
		需用費	5,425,754
		役務費	1,769,861
		委託料	2,516,120
		使用料及び賃借料	223,020
		備品購入費	226,800
		工事請負費 （特別収蔵室エアコン パッケージ交換工事）	3,110,205
		旅費	174,920
計	2,695,275	計	22,458,990

平成 21 年度

歳入	金額 (円)	歳出	金額 (円)
観覧料	1,566,600	報酬	5,256,850
図録等売払収入	463,680	賃金	1,983,050
雑入	842,009	報償費	2,314,000
東京都緊急雇用創出事業による補助金	1,539,274	需用費	5,945,465
東京都市長会多摩・島しょ子ども体験 塾市町村助成金 (ガラス絵)	490,000	役務費	2,346,959
		委託料	3,727,419
		使用料及び賃貸料	574,245
		備品購入費	126,000
		旅費	378,540
計	4,901,563	計	22,652,528

平成 22 年度

歳入	金額 (円)	歳出	金額 (円)
観覧料	916,300	報酬	5,261,398
図録等売払収入	301,055	賃金	2,170,900
雑入	178,006	報償費	2,238,000
東京都緊急雇用創出事業による補助金	2,226,102	需用費	5,200,806
文化庁美術館所蔵作品デジタル・アー カイブ化に関する調査・研究 委託金	849,365	役務費	1,747,767
		委託料	4,323,084
		使用料及び賃貸料	724,500
		旅費	177,490
計	4,470,828	計	21,843,945

## 9. 資料

### 小金井市立はけの森美術館運営協議会

#### 1. 設置趣旨

小金井市立はけの森美術館の運営に関し市長の諮問に応じるとともに、美術館における運営の在り方、事業内容、経営等について検討し、その結果を市長に報告する。

※根拠条例：小金井市はけの森美術館条例要綱第 12 条

#### 2. 委員構成

市民	2 人以内
館長	1 人以内
学識経験者	1 人以内
市に勤務する職員	1 人以内

#### 3. 委員名簿

◇第 1 期 平成 18 年～平成 20 年 3 月 31 日

◇第 2 期 平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

会長	鉄矢悦朗（東京学芸大学教育学部教授）
副会長	宮村令子（公募市民）
	千村裕子（公募市民）
	淀井彩子（青山学院女子短期大学芸術学科教授）
	富士道正尋（小金井市職員）
	小柳清（小金井市立はけの森美術館館長）

◇第 3 期 平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

会長	鉄矢悦朗（東京学芸大学教育学部教授）
副会長	宮村令子（公募市民）
	千村裕子（公募市民）
	淀井彩子（青山学院女子短期大学芸術学科教授（平成 23 年 3 月退官））
	豊岡弘敏（小金井市職員）
	鈴木茂哉（小金井市立はけの森美術館館長）

#### 4. 開催経過

- 平成 18 年度 第 1 回運営協議会：平成 18 年 7 月 25 日（火）  
第 2 回運営協議会：平成 18 年 9 月 6 日（木）  
第 3 回運営協議会：平成 18 年 10 月 3 日（火）  
第 4 回運営協議会：平成 19 年 3 月 19 日（月）
- 平成 19 年度 第 1 回運営協議会：平成 19 年 6 月 29 日（金）  
第 2 回運営協議会：平成 19 年 11 月 29 日（木）  
第 3 回運営協議会：平成 20 年 3 月 28 日（金）
- 平成 20 年度 第 1 回運営協議会：平成 20 年 7 月 8 日（火）  
第 2 回運営協議会：平成 20 年 12 月 5 日（金）  
第 3 回運営協議会：平成 21 年 3 月 19 日（木）
- 平成 21 年度 第 1 回運営協議会：平成 21 年 5 月 28 日（木）  
第 2 回運営協議会：平成 22 年 1 月 29 日（金）  
第 3 回運営協議会：平成 22 年 3 月 30 日（火）

- 平成 22 年度 第 1 回運営協議会：平成 22 年 5 月 26 日（水）
- 第 2 回運営協議会：平成 22 年 7 月 30 日（金）
- 第 3 回運営協議会：平成 22 年 10 月 8 日（金）
- 第 4 回運営協議会：平成 23 年 2 月 17 日（木）

## 小金井市立はけの森美術館収集評価委員会

### 1. 設置趣旨

小金井市立はけの森美術館における芸術文化作品の収集及び評価に関し市長の諮問に応じるとともに、収集方針、作品寄贈の受入等について検討し、その結果を市長に報告する。

※根拠条例：小金井市はけの森美術館条例第 13 条（平成 17 年 9 月 29 日条例第 23 号）

### 2. 委員名簿

◇第 1 期 平成 19 年 2 月 9 日～平成 21 年 2 月 8 日

委員長 松平修文（青梅市立美術館副館長）  
乙葉 哲（東京都美術館学芸員）  
堀内 哲（旧中村研一記念美術館学芸員）  
小柳 清（小金井市立はけの森美術館館長）  
横田佳世（小金井市立はけの森美術館学芸員）

◇第 2 期 平成 21 年 12 月 25 日～平成 23 年 12 月 24 日

委員長 本江邦夫（多摩芸術大学教授）  
乙葉 哲（東京都美術館学芸員）  
塚本豊子（双ギャラリーオーナー）  
久保 昇（小金井市市民部長）  
小林美都江（小金井市学校教育部長）

### 3. 開催経過

- 平成 18 年度 第 1 回収集評価委員会：平成 19 年 2 月 9 日（金）
- 第 2 回収集評価委員会：平成 19 年 3 月 30 日（金）
- 平成 19 年度 第 1 回収集評価委員会：平成 19 年 11 月 20 日（火）
- 平成 21 年度 第 1 回収集評価委員会：平成 21 年 12 月 25 日（金）
- 平成 22 年度 第 1 回収集評価委員会：平成 22 年 10 月 26 日（火）



## 小金井市立はけの森美術館 職員

### 平成 18 年度 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

館長	小柳 清	(小金井市役所市民部コミュニティ文化課長)
学芸顧問	薩摩雅登	(東京藝術大学大学美術館助教授)
事務	渡邊聖雄	(再任用職員) 8 月 31 日まで
学芸員	横田佳世	(非常勤嘱託職員)
	大野 玲	(非常勤嘱託職員)

### 平成 19 年度 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

館長	小柳 清	(小金井市役所市民部コミュニティ文化課長)
学芸顧問	薩摩雅登	(東京藝術大学大学美術館教授)
事務	天野達彦	(再任用職員)
学芸員	横田佳世	(非常勤嘱託職員)
	大野 玲	(非常勤嘱託職員) 4 月 30 日まで
	松山ひとみ	(非常勤嘱託職員) 5 月 1 日より
	奥友絵里子	(非常勤嘱託職員) 5 月 1 日より

### 平成 20 年度 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

館長	小柳 清	(小金井市役所市民部コミュニティ文化課長)
学芸顧問	薩摩雅登	(東京藝術大学大学美術館教授)
事務	天野達彦	(再任用職員)
学芸員	大野 玲	(非常勤嘱託職員)
	神津瑛子	(非常勤嘱託職員)

### 平成 21 年度 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

館長	鈴木茂哉	(小金井市役所市民部コミュニティ文化課長)
学芸顧問	薩摩雅登	(東京藝術大学大学美術館教授)
事務	天野達彦	(再任用職員)
学芸員	大野 玲	(非常勤嘱託職員)
	神津瑛子	(非常勤嘱託職員)
学芸員補	加藤みつこ	(非常勤嘱託職員) 7 月 1 日より

### 平成 22 年度 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

館長	鈴木茂哉	(小金井市役所市民部コミュニティ文化課長)
学芸顧問	薩摩雅登	(東京藝術大学大学美術館教授)
事務	中嶋 登	(再任用職員)
学芸員	大野 玲	(非常勤嘱託職員) 8 月 31 日まで
	神津瑛子	(非常勤嘱託職員)
	荒木 和	(非常勤嘱託職員) 5 月 1 日より
	岩崎みどり	(非常勤嘱託職員) 8 月 10 日より 3 月 17 日まで

### 平成 23 年度 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

館長	鈴木茂哉	(小金井市役所市民部コミュニティ文化課長)
学芸顧問	薩摩雅登	(東京藝術大学大学美術館教授)
事務	山田耕太郎	(再任用職員)
学芸員	神津瑛子	(非常勤嘱託職員)
	荒木 和	(非常勤嘱託職員)
	中村ひの	(非常勤嘱託職員)

## 《参考資料》財団法人中村研一記念美術館の展覧会

財団法人中村研一記念美術館は、中村研一夫人である中村富子氏の尽力によって平成元年に開館した。その後15年間の活動を経て、所蔵コレクションとともに美術館は小金井市に寄贈され、名称を「中村研一記念小金井市立はげの森美術館」とし、改修等を経て平成18年、新たに開館した。参考資料として、中村研一記念美術館の15年間の企画展、及び所蔵作品展の一覧を挙げる。

年度		展覧会名	会期	出品数(点)	
				1階展示室	2階展示室
平成元年 (1989)	所蔵展	開館記念展①	1989年5月18日(木)～9月17日(日)	36	—
	所蔵展	開館記念展②	1989年9月19日(火)～12月24日(日)	48	69
	企画展	中村琢二展	1990年1月17日(水)～4月1日(日)	40	65
平成2年 (1990)	企画展	開館1周年記念展	1990年4月5日(木)～7月1日(日)	36	28
	所蔵展	中村研一とゆかりの画家展	1990年7月6日(金)～9月30日(日)	42	54
	企画展	第1回 工芸美術 明日へのかたち展	1990年10月5日(金)～11月4日(日)	58	—
平成3年 (1991)	所蔵展	館蔵品展Ⅰ	1990年11月9日(金)～1991年3月31日(日)	31	54
	企画展	開館2周年記念展	1991年4月6日(土)～6月30日(日)	36	66
	所蔵展	中村研一素描展	1991年7月9日(火)～8月25日(日)	79	49
	企画展	田村一男自選作品展	1991年9月1日(日)～10月27日(日)	26	59
	企画展	第2回 工芸美術 明日へのかたち展	1991年11月1日(金)～12月1日(日)	48	59
平成4年 (1992)	所蔵展	館蔵品展Ⅱ	1991年12月5日(木)～1992年3月29日(日)	49	58
	企画展	開館3周年記念展～中村研一・初期の名作～前期	1992年4月7日(火)～5月31日(日)	23	71
	企画展	開館3周年記念展～中村研一・初期の名作～後期	1992年6月2日(火)～6月21日(日)	25	71
	所蔵展	中村研一素描展	1992年6月28日(日)～9月6日(日)	63	45
	所蔵展	中村研一の人物画展～肖像画を中心に～	1992年9月12日(土)～10月25日(日)	42	45
	企画展	第3回 工芸美術 明日へのかたち展	1992年11月3日(火)～12月6日(日)	64	—
平成5年 (1993)	所蔵展	館蔵品展Ⅲ	1992年12月13日(日)～1993年3月28日(日)	38	48
	所蔵展	中村研一・富子展	1993年4月6日(火)～6月13日(日)	52	47
	所蔵展	中村研一素描展	1993年6月19日(土)～8月29日(日)	64	50
	企画展	小金井市制35周年記念 中村研一・琢二展	1993年9月5日(日)～11月14日(日)	50	63
	企画展	第4回 工芸美術 明日へのかたち展	1993年11月21日(日)～12月19日(日)	75	58
	所蔵展	館蔵品展Ⅳ	1994年1月8日(土)～3月27日(日)	41	60
平成6年 (1994)	所蔵展	開館5周年企画展 PART I ～新収蔵品展～	1994年4月5日(火)～8月14日(日)	47	50
	企画展	美術館で描いたよ! PART I こども達の絵画展 94	1994年8月19日(金)～9月25日(日)	56	49
	企画展	カナダ・ピーシングキルト展 ～小布で描く・井上照子の世界～	1994年10月1日(土)～10月23日(日)	19	55
	企画展	第5回 工芸美術 明日へのかたち展	1994年10月30日(日)～11月13日(日)	73	63
	所蔵展	開館5周年記念企画展 PART II ～館蔵・寄託作品展～鑑賞の手引き	1994年11月19日(土)～1995年3月26日(日)	50	63
平成7年 (1995)	企画展	生誕百年記念特別展 回顧・中村研一 ～福岡県内の美術館所蔵作品を中心に～	1995年4月4日(火)～6月25日(日)	38	54
	企画展	佐藤章・没後10年展 ～コンテで描いた日本の民家～	1995年7月4日(火)～7月30日(日)	33	57
	企画展	美術館で描いたよ! PART II こども達の絵画展 95	1995年8月5日(土)～8月27日(日)	40	57
	企画展	生誕百年記念特別展 回顧・中村研一 ～都内の美術館所蔵作品を中心に～	1995年9月5日(火)～11月26日(日)	43	54
	所蔵展	館蔵品展Ⅴ	1995年12月5日(火)～1996年1月28日(日)	31	55
	企画展	永沢まこと・ゴッホの世界展	1996年2月6日(火)～3月31日(日)	49	67

年度		展覧会名	会期	出品数(点)	
				1階展示室	2階展示室
平成8年 (1996)	企画展	研一と琢二・中村兄弟展	1996年4月9日(火)～6月30日(日)	38	69
	企画展	佐藤章素描展～コンテで描いた日本の民家～	1996年7月9日(火)～8月25日(日)	31	56
	企画展	中村研一とゆかりの作家展 ～石川県立美術館所蔵作品を中心に～	1996年9月3日(火)～12月1日(日)	29	27
平成9年 (1997)	企画展	村岡平蔵遺作展／新収蔵品紹介コーナー	1996年12月10日(火)～1月26日(日)	24	55
	所蔵展	館蔵品展VI	1997年2月4日(火)～3月30日(日)	35	61
	企画展	中村研一展～信濃美術館所蔵作品を中心に～	1997年4月8日(火)～6月29日(日)	33	55
	企画展	メイ、私たち、風になってる!! ～宮崎駿「となりのトトロ」水彩画展～	1997年7月8日(火)～8月31日(日)	90	50
平成10年 (1998)	所蔵展	館蔵品展(油彩と素描)	1997年9月9日(火)～1998年3月29日(土)	—	—
	企画展	黒田久美子遺作展	1998年4月7日(火)～7月6日(月)	—	—
	企画展	紙の造形・吉澤章 ORIGAMI 折り紙展	1998年7月7日(火)～8月30日(日)	129	—
	所蔵展	館蔵品展(花と人物) PART I	1998年9月8日(火)～1999年10月27日(火)	—	—
	企画展	小金井市制施行40周年記念 小金井美術家(洋画)展	1998年11月1日(日)～11月10日(火)	—	—
平成11年 (1999)	所蔵展	館蔵品展(花と人物) PART II	1998年11月15日(日)～1999年3月28日(日)	—	—
	企画展	開館10周年記念企画展 国立近代美術館蔵(コ タ・バル 他) 1940年代の作品(花・人物)	1999年4月6日(火)～7月4日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 PART III夏(花と裸婦)	1999年7月13日(火)～8月29日(日)	—	—
平成12年 (2000)	所蔵展	館蔵品展 PART IV(花・人物)	1999年9月7日(火)～2000年3月26日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 2000-1	2000年4月4日(火)～6月25日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 2000-2	2000年7月4日(火)～9月24日(日)	—	—
平成13年 (2001)	所蔵展	館蔵品展 2000-3	2000年10月3日(火)～2001年3月25日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 2001-4(油彩・素描・陶芸)／特別展・ 2人展 中村富子・中山誠良(水彩画)	2001年4月3日(火)～6月24日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 2001-5	2001年7月3日(火)～9月23日(日)	—	—
	所蔵展	特別展 研一作・四季の花	2001年7月3日(火)～7月29日(日)	—	—
	企画展	第7回籠の子会展	2001年8月10日(金)～9月23日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 2001-6(前期) 特別展 研一作 陶芸・ 下絵	2001年10月2日(火)～10月28日(日)	—	—
	企画展	田畑和高特別展～人物と風景の調和～	2001年11月3日(土)～11月25日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 2001-6(後期) 特別展 研一作・海	2001年12月4日(火)～2002年3月24日(日)	—	—
平成14年 (2002)	所蔵展	館蔵品展 2002-7(油彩・素描・陶芸)／特別展 中村研一作・花	2002年4月2日(火)～6月23日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 2002-8(油彩・素描・陶芸)／特別展 中村研一作・海	2002年7月2日(火)～9月29日(日)	—	—
	所蔵展	館蔵品展 2002-9(油彩・素描・陶芸)／特別展 中村研一作・人物	2002年10月8日(火)～2003年3月23日(日)	—	—
平成15年 (2003)	企画展	開館15周年展 特別展 戦争記録画／2003-10 中村研一作 人物・裸婦・静物	2003年4月1日(火)～9月28日(日)	—	—
	所蔵展	開館15周年展 特別展 富子像／2003-11 油彩・素描・陶芸	2003年10月7日(火)～12月21日(日)	—	—

## 10. 関連条例・規定

### 小金井市立はけの森美術館条例

平成 17 年 9 月 29 日  
条例 第 23 号

#### (設置)

第 1 条 芸術文化の享受に寄与することにより、市民の感受性及び創造性を高めるとともに、芸術文化活動への市民の参画を通じ交流の機会を提供し、もって本市の新たな芸術文化の創造及び振興を図るため、美術館を設置する。

#### (名称及び位置)

第 2 条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 小金井市立はけの森美術館

位置 小金井市中町一丁目 11 番 3 号

#### (事業)

第 3 条 美術館は、次の事業を行う。

- (1) 芸術文化作品の展示、保存及び修復に関すること。
- (2) 芸術文化事業の開催及び活動への助言及び指導に関すること。
- (3) 芸術文化に関する調査及び研究に関すること。
- (4) 芸術文化の情報及び資料の収集及び公開に関すること。
- (5) 芸術文化に関する講演会、講習会等の主催及び援助に関すること。
- (6) 美術館事業の広報に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するために必要なこと。

#### (職員)

第 4 条 美術館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

#### (施設)

第 5 条 美術館には、展示室その他附属施設を設置する。

#### (休館日)

第 6 条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- (1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条に規定する休日に当たるときは、その日の直後の休日以外の日とする。
- (2) 1 月 1 日から同月 3 日まで。
- (3) 12 月 29 日から同月 31 日まで。

#### (開館時間)

第 7 条 美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとする。ただし、市長が特に必要と認めるときは、これを変更することができる。

#### (観覧料)

第 8 条 美術館に展示されている芸術文化作品を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納入しなければならない。

- 2 美術館が企画展を開催する場合には、前項の規定にかかわらず、市長は 1,000 円を超えない範囲内において、その都度観覧料を定めることができる。
- 3 前 2 項の規定にかかわらず、市長は特別の事情があると認めるときは、観覧料を減額又は免除することができる。

#### (観覧料の不還付)

第 9 条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が相当の理由があると認めるときは、既納の観覧料の全部又は一部を還付することができる。

#### (入館の制限)

第 10 条 入館しようとする者が、次の各号のいずれかに該当するときは、市長は入館を禁じ、又は退館をさせることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は施設、設備、展示品等を損壊するおそれがあると認めるとき。
- (2) 美術館内の秩序を乱すおそれがあると認めるとき。
- (3) 前2号に定めるもののほか、管理運営上支障があると認めるとき。

(損害賠償の義務)

第11条 故意又は過失により、美術館の施設、設備、展示品等を滅失し、又はき損した者は、市長の指示に従いその損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。

(運営協議会の設置)

第12条 市長は、美術館に小金井市立はけの森美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、美術館の運営に関し市長の諮問に応じるとともに、市長に対して意見を述べることができる。
- 3 協議会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する委員6人以内をもって組織する。
  - (1) 市民 2人以内
  - (2) 学識経験者 2人以内
  - (3) 館長 1人
  - (4) 市に勤務する職員 1人以内
- 4 前項第1号の委員は、公募によるものとする。
- 5 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(収集評価委員会の設置)

第13条 市長は、美術館に小金井市立はけの森美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、芸術文化作品の収集及び評価に関し市長の諮問に応じるとともに、市長に対して意見を述べるができる。
- 3 委員会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する委員5人以内をもって組織する。
  - (1) 学識経験者 3人以内
  - (2) 市に勤務する職員 2人以内
- 4 委員会の委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(委任)

第14条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。  
(特別職の給与に関する条例の一部改正)
- 2 特別職の給与に関する条例（昭和31年条例第22号）の一部を次のように改正する。

別表第3中「公務災害補償等審査会 会長 日額 11,000円  
委員 日額 10,000円」

を

「公務災害補償等審査会 会長 日額 11,000円  
委員 日額 10,000円  
市立はけの森美術館運営協議会 会長 日額 11,000円  
委員 日額 10,000円  
市立はけの森美術館収集評価委員会 委員長 日額 11,000円  
委員 日額 10,000円」

に改める。

別表（第8条関係）

区分		
観覧料（企画展を除く）	一般	200円
	小学生・中学生	100円

備考

- 1 小学生・中学生とは、小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者をいう。
- 2 学齢に達しない者（小学校就学前の者）は、無料とする。

## 小金井市立はけの森美術館条例施行規則

平成 18 年 4 月 1 日

規則第 34 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、小金井市立はけの森美術館条例（平成 17 年条例第 23 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第 2 条 市長は、条例第 8 条の規定により観覧料を納入した者に、領収書に代えて観覧券を交付する。

2 観覧券の発行時間は、閉館時間の 30 分前までとする。ただし、必要と認めるときは、この限りでない。

(観覧料の減額又は免除)

第 3 条 条例第 8 条第 3 項の規定に基づく観覧料の減額又は免除の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 中学生以下の者及びこれに準ずる者並びにこれらの引率者が、教育課程に基づく学校行事等の教育活動として観覧するとき。 免除
  - (2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）に規定する身体障害者手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。 免除
  - (3) 東京都が発行する愛の手帳又は道府県が発行する療育手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。 免除
  - (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）に規定する精神障害者保健福祉手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。 免除
  - (5) 市が主催又は共催する行事の参加者が、その行事の一環として観覧するとき。 免除
  - (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認めるとき。 2 分の 1 又は免除
- 2 前項に規定する減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ小金井市立はけの森美術館観覧料減額・免除申請書を提出しなければならない。ただし、前項第 2 号から第 4 号までに規定する者は、手帳の提示をもって当該申請書の提出に代えることができる。

(観覧料の還付)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定に基づき観覧料を還付する場合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 観覧する者の責任でない事由により、観覧することができないとき。 全額
- (2) その他市長が特に必要と認めるとき。 全額

(遵守事項)

第 5 条 美術館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと。
- (2) 館内にカッターナイフ等の刃物、油彩道具等を持ち込まないこと。ただし、講座等の行事において、入館する者がそれらを使用する場合は、この限りでない。
- (3) 喫煙又は飲食をしないこと。
- (4) 他の入館者の迷惑となるような行為をしないこと。
- (5) 係員の指示に従うこと。

(協議会の組織)

第 6 条 条例第 12 条に規定する小金井市立はけの森美術館運営協議会（以下「協議会」という。）に、会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の運営等)

第7条 協議会は、必要に応じて開催する。

- 2 協議会は、会長が招集し、その議長となる。
- 3 協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(委員会の組織)

第8条 条例第13条に規定する小金井市立はげの森美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）に、委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によって定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員会の運営等)

第9条 委員会は、必要に応じて開催する。

- 2 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
- 3 委員会は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。
- 4 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

## 小金井市学芸顧問設置要綱

制定 平成 18 年 4 月 1 日

改正 平成 19 年 4 月 1 日

(設置)

第 1 条 小金井市立はけの森美術館の運営及び事業実施に関し、専門的な立場から指導、助言を受け、本市の新たな芸術文化の創造及び振興を図ることを目的に、小金井市学芸顧問（以下「学芸顧問」という。）を置く。

(指導及び助言)

第 2 条 学芸顧問は、次の事項について相談に応じ、指導及び助言するものとする。

- (1) 美術館の運営に関する事。
- (2) 美術館の事業に関する事。
- (3) その他、美術館職員が美術館業務を遂行する上で、必要な事。

(定数)

第 3 条 学芸顧問の定数は、1 人とする。

(委嘱)

第 4 条 学芸顧問は、芸術文化に関して識見を有する者の中から市長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 学芸顧問の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

(謝礼)

第 6 条 学芸顧問に関する謝礼は、予算の範囲内で支払う。

(所管)

第 7 条 学芸顧問に関する事務は、市民部コミュニティ文化課が所管する。

(その他)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。



## 小金井市立はけの森美術館所蔵作品等の貸与に関する要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、小金井市立はけの森美術館（以下「美術館」という。）に所蔵する作品等（以下「作品等」という。）の貸与について、必要な事項を定めることを目的とする。

### (作品等の貸与)

第2条 市長は、芸術文化の普及上必要と認めた場合に、小金井市市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例（昭和39年条例第2号）第7条及び小金井市物品管理規則（昭和53年規則第8号）第35条の規定に基づき、国もしくは地方公共団体又は公益法人もしくはこれに準ずるものに対して作品等を貸与することができる。

### (貸与申請)

第3条 作品等の貸与を受けようとするものは、次に掲げる事項を記載した作品等借受申請書に企画書、出品作品リスト及び施設概要を添えて、貸与開始日の3か月前までに市長に提出しなければならない。

- (1) 申請者氏名又は名称及び住所
- (2) 展示等のための施設の名称及び住所
- (3) 借り受けようとする作品等の名称及び数量
- (4) 使用目的及び当該作品等を使用する企画展等の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間中の保管方法及び監視員の設置等を含む管理の方法
- (7) 保険適用等を含む運搬方法
- (8) その他参考となる事項

### (貸与適格)

第4条 作品等の貸与を受けようとするものは、次に掲げる事項を満たしているものとする。

- (1) 美術専門の教員又は研究官もしくは学芸員を配置している組織であること。
- (2) 防犯及び防災体制並びに空調設備等が整備された美術品専門の収蔵庫及び展示室を有していること。
- (3) 展示室に必要な数の監視員を常時配置させていること。

### (貸与制限)

第5条 次に掲げる作品等は、貸与の対象外とする。

- (1) 状態が悪く、展示することができないと美術館の学芸員が判断した作品等
- (2) 常設展で展示している作品等
- (3) 前2号に掲げるもののほか、貸与することにより美術館の事業に支障をきたすおそれのある作品等

### (貸与許可)

第6条 市長は、作品等の貸与を許可したときは、貸与条件を付した所蔵作品等貸与許可通知書（様式）を申請者に交付しなければならない。

### (貸与期間)

第7条 作品等の貸与期間は、原則として2か月以内とする。ただし、市長が必要と認めたときは、6か月まで貸与期間を延長することができる。

### (著作権に関する措置)

第8条 作品等の展示及びその写真の使用に伴う著作権者との協議及びその手続は、作品等の借受人が責任を持って行うものとする。

- 2 作品等の借受人は、前項の規定による措置を採った場合は、その結果を市長に報告しなければならない。

### (貸与に関する遵守事項)

第9条 貸与する作品等の運搬、保管及び管理に要する費用は、借受人が負担する。

- 2 貸与期間中の作品等の保管及び管理については、借受人の責任で行う。この場合において、亡失、汚損又は破損があったときは、借受人は、賠償の責めを負うものとし、独断で修復等を行わず直ちにその詳細を市長に報告しなければならない。
- 3 作品等の借受人は、当該作品等を使用目的以外に使用してはならない。
- 4 作品等の貸与及び返却は、企画展等の主催者で美術を専門とする教員又は研究官もしくは学芸員が来館して行わなければならない。
- 5 作品等の貸与及び返却は、美術品専門の運送会社が運送し、美術輸送専門の車両を使用して行わなければならない。

### (委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、作品等の貸与に関し必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成 19 年 3 月 30 日から施行する。

## 11. 施設概要

### 1) 利用案内

開館時間：午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時半まで）

休館日：月曜日（ただし月曜日が祝日ないし振替休日の場合は翌平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

※この他、展示替など必要に応じ休館することがあります

観覧料：所蔵作品展 一般 200 円

小中学生 100 円

企画展 その都度設定

※未就学児は無料

※障害者手帳をご呈示の方、および付添いの方 1 名までは無料

### 2) 交通案内

○JR 中央線武蔵小金井駅下車南口より徒歩約 15 分、「はけの道」沿い、小金井市立第二中学校近く

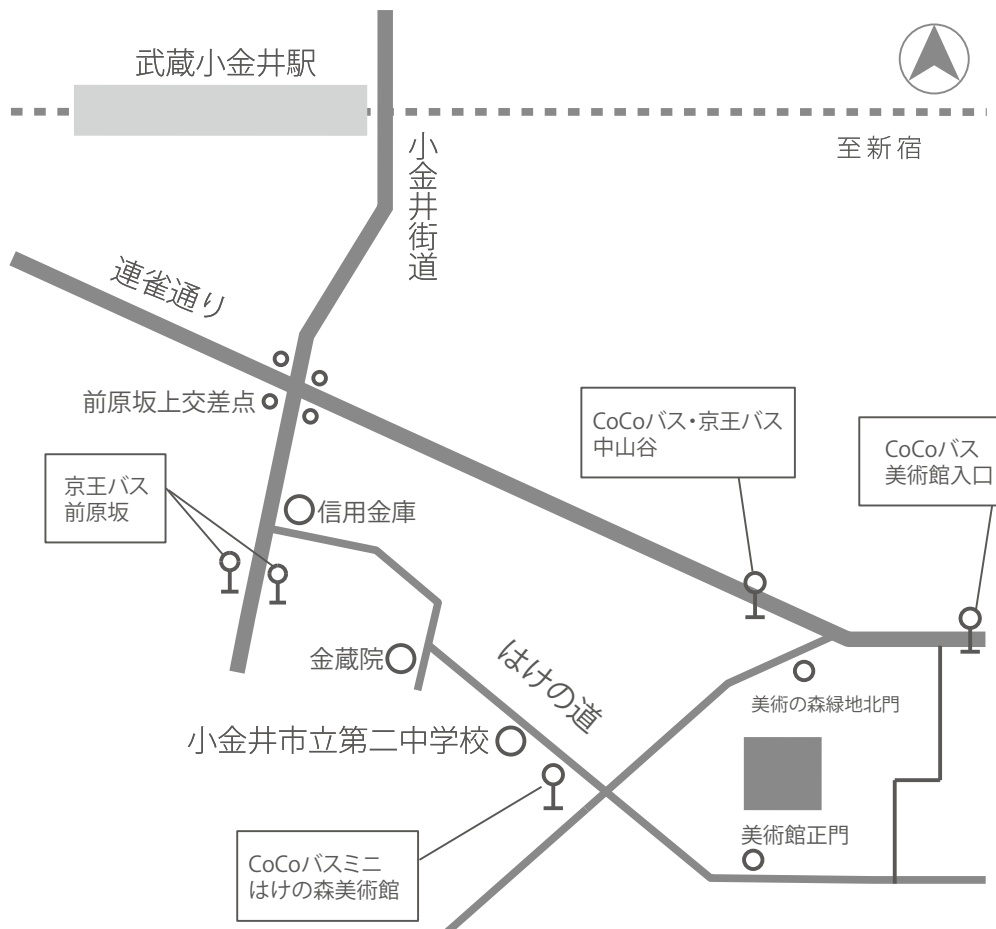
○武蔵小金井駅南口発 CoCo バスミニ野川・七軒家循環「はけの森美術館」下車、徒歩約 1 分

○武蔵小金井駅南口発 京王バス武蔵境駅南口行き「中山谷」、

西武多摩川線新小金井駅発 CoCo バス中町循環「美術館入口」もしくは「中山谷」下車、徒歩約 1 分

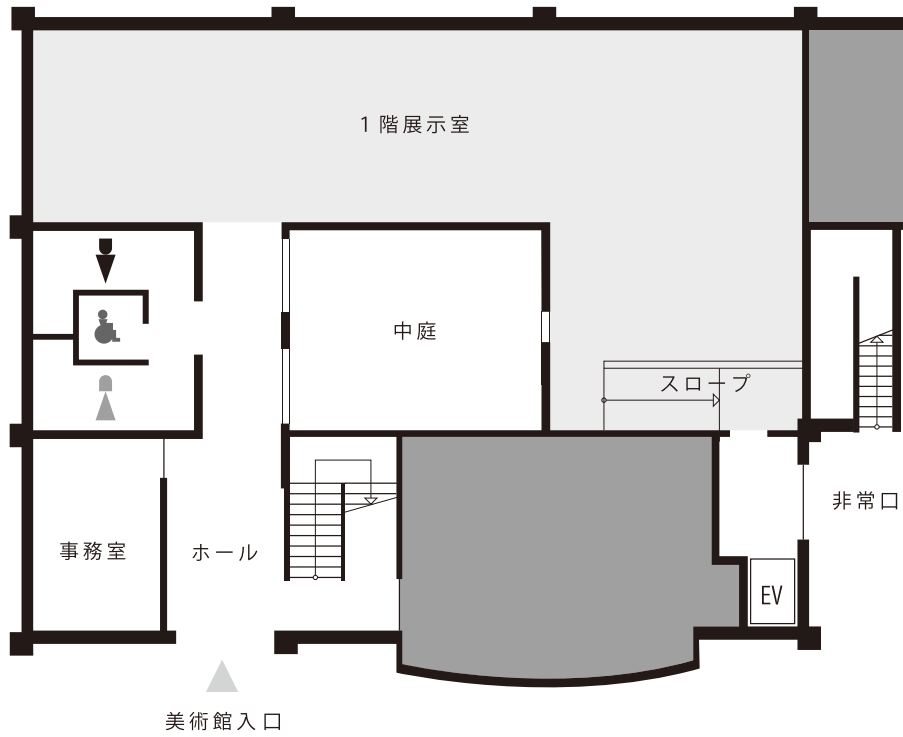
※いずれも「美術の森」緑地北門より

○京王線府中駅・調布駅発 京王バス武蔵小金井駅行き「前原坂」下車、徒歩約 10 分

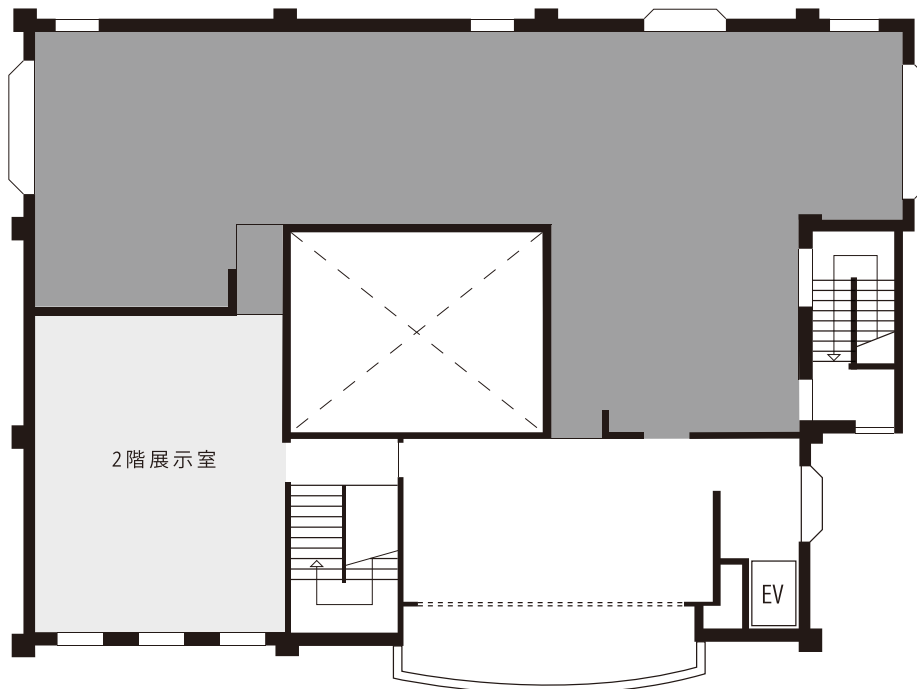


3) 館内案内

1 階



2 階



延床面積 775.1㎡

1 階展示室 175.8㎡

2 階展示室 72.0㎡



小金井市立はけの森美術館 年報  
平成 18 年度 - 平成 22 年度

平成 24 年 3 月 31 日発行

編集

中村ひの、岩崎みどり（小金井市立はけの森美術館）

制作

社会福祉法人武蔵野 ワークセンターけやき

表紙デザイン

渡邊 桜（東京学芸大学デザイン研究室）

発行

小金井市立はけの森美術館

〒 184-002 東京都小金井市中町 1-11-3

Tel 042-384-9800

<http://www.city.koganei.lg.jp>